京城日報

大共進會

▲開場宣言

始政五年記念朝鮮物産共進會

夜來の雨は曉天に至りて歇み十一日の朝は日光斷雲の間より洩れて滿天滿地洗ふが如く滿らかに南山北岳笑を湛へて佳日を迎ふるに似たり始政五年記念朝鮮物産共進會の準備全く成り茲に初めて一般の觀覽を許さんとするに先だち十一日午前九時より景福宮裡勤政殿に於て嚴肅なる開場式は擧行せられ寺内總督は親しく開會の宣言をなせり

此日早朝より行人絡繹織るが如く雜閙を極めたる光化門前の大路は開場式に參列の官民或は自動車に或は馬車に或は腕車を驅りて群衆の間を式場へ急ぎ定刻に先だち山縣事務總長以下共進會に關係ある官民約五百名は威儀を正して勤政殿に打ち揃ひ開式を待つ

正九時寺内總督は自動車にて來着直ちに石階を上りて殿中に進み諸員の敬禮に答へ乍ら席に就く兒玉伯の挨拶にて式は極めて靜粛の裡に始められ總督は白井森の兩武官を隨へて高座に進むや山縣事務總長は正面階段を登りて總督に對し會務の報告をなし開場の宣言を請ふの辭を朗讀す

▼山縣事務總長の式辭

朝鮮總督府始政五年に迨ぶの秋に當り總督閣下は朝鮮物産共進會を開催するの計畫を定められ客歲六月を以つて小職等共職員たるの光榮を拜し爾來閣下の御訓示を體し部下職員と共に專心會務に鞅掌せり然るに本會の事業たるや過去の朝鮮に在りては未だ其の例を見ざる所なるを以て當初幾多の困難あるべきを豫期したりしに幸に閣下の懇篤なる御指導と各方面に於ける官民各位の熱心なる援助贊營とに依り格段の延滯支吾を來すことなく著々其の功程を進め今や豫定の如く諸般の準備全く整ふに至り各種の出品は何れも新政五年間に於ける長足なる進歩の實績を示さゝる莫し庶くは閣下親しく開場を宣し以て公衆の觀覽を許されんことを

大正四年九月十一日

事務總長正三位勳一等 山縣伊三郎

山縣總長の挨拶畢るや總督は歩を進めて一揖次の宣言書を朗讀す

▼寺内總督の宣言

物産共進會は事務總長の報告に依りて諸準備完く了りたるを知悉す是れ偏に總長以下各關係諸君並に出品者諸子の盡力に頼るものにして本職の最も欣幸とする所なり抑朝鮮に於ける此種の開催は創始に屬すれども之に由りて殖産興業の發展を促進し本府の施政方針と相一致して益々萬衆の福祉を增進せしめざる可らず

本會の開會式は閑院宮殿下御台臨の日を竢て之を擧行せむとす然れども物品の陳列既に完きを以て豫定の如く本日以降公衆の觀覽を許すこと丶爲すべし依て茲に開場を宣し併せて各位の勞を謝す

大正四年九月十一日

朝鮮總督 伯爵 寺内正毅

是れにて開場式は茲に終りを告げ時に九時十五分なり夫れより總督は諸員を隨へ第一號館を初めとし東拓館、審勢館、第二號館、參考館、美術館其他を巡視して十一時退出したり

▼當日の參列者

文官側にては山縣政務總監、荒井、檜垣、池田、大屋、國分、宇佐美、関の各長官、渡邊高等法院長、松寺檢事正、城覆審法院長、兒玉、鈴木、關屋、持地の各局長、豐永、中村の兩技師、齋藤營林廠長、[illegible]務官、各道第一部長總督府各課長技師、各官公立學校長、中樞院副議長李完用伯、趙重應、朴齊純、李容植、權重顯、李夏榮、李根湘、閔泳綺、韓相洙、朴齊斌の各顧問及び贊議、副贊議、武官にては井口軍司令官、立花總長、古海參謀長、河村師團長、白井、森の兩武官、各道警務部長、民間側にては吉原協贊會長、金谷、原田、白等の各副會長、商議員、常議員、井上理事長、各理事、委員、新聞、通信記者等五百餘名と註せらる

▲共進會委員會

十一日は開場當日なるを以て午後四時より共進會事務所に於て共進會委員會を開き持地、兒玉、山縣各係長以下各委員出席諸般の事務に就き協議打合の上六時散會したり

▲共進會開會式 案内狀五千通

十月一日開催の筈なる始政五年記念共進會開會式に對し同會事務所にては十一日來山縣事務總長の名を以て内鮮各地は勿論滿洲樺太臺灣の主なる官民團體等に向け案内狀を發送しつゝあるが其數四千五百餘通に達せり十五日までには全部送附を了る可しと

▲徽章特急注文 數日中に配布せん

京城協贊會にては豫て各會員に配布す可き徽章を夫々配布し居れども此程に至り其數に不足を生じたるを以て特急の手續を以て注文を爲したれども製造日數に茲數日間の日子を要す可きを以て本月廿三日迄に使用す可き分として晝間及び夜間の入場券各四葉宛を送附したりと尤も不足を來したる徽章は贊助會員、副會員等なるが右は協贊會の入會者最近に至り激增したるため如斯不足を生ずるに至りたるものなりと

●兵庫縣觀光團 釜山より馬山へ

十日午後釜山入港の連絡船新羅丸にて渡鮮せし兵庫縣有志滿鮮觀光團服部知事以下二十五名の一團は十一日午前馬山へ向ひたるが同地方面を視察の後十二日を以て入京の豫定なるが其一行の顏觸を見るに同縣一流の縉紳を網羅したるものにして神戶市長、兩院議員、銀行會社重役等多數を占め中に例の有名なる村野山人氏夫妻も加はり居れり其職業氏名を擧ぐれば(イロハ順)

▲兵庫縣知事貴族院議員、服部一三▲貿易商、濱田篤三郎▲大地主會社重役、小[illegible]松▲大地主銀行重役、大西甚一平▲酒造業會社重役、小野權四郎▲醫學士、大國巽太郎▲名譽職、(團長)神田兵右衛門▲神戶市長、鹿島房次郎▲日本毛織會社長、川西淸兵衛▲會社重役、神田保三▲五十六銀行頭取米澤吉次郎▲貿易商、吉川久七▲貴族院議員燐寸製造業、瀧川辨三▲衆議院議員肥料製造業、多木粂次郎▲會社重役、(幹事)武岡豐太郎▲會社重役、曾根正命(副團長)村野山人、妻すみ子▲神戶電氣會社專務取締役、內村直俊▲日本毛織會社、藤本大三郎▲會社重役、有馬市太郎、嫡子市藏▲會社重役、澤田淸兵衛▲會社重役、澤野定七▲貿易商、湯淺竹之助

◎各道警務部長招待

十三日午後七時より千代本に於て開催、兒玉の兩局長、山形大佐、山口經理課長其他の發起にて滯在中なる各道警務部長を招待晩餐會を開催すべし

◎李埈公出發

李埈公殿下は金剛山見物の爲め十一日午前九時二十分南大門驛發列車にて出發せるが隨員は事務官李仁用附武官金基元の兩氏にして來る十八日歸京す可し

●官廳勤務時間の變更

總督府及び所屬官廳勤務時間は十一日より午前八時半出勤午後四時退廳に變更されたり

人事消息

▲長野一郎氏(平壤覆審法院判事) 十日入京不知火旅館に
▲鈴木武太郎氏(東京醫學校長) 十日入京巴城館に
▲武田總七郎氏(水原模範場技師) 同上
▲杉本良氏(江原道事務官) 十日入京山本旅館に
▲山岸陸造氏(臨[illegible]課技師) 十日入京浦尾旅館に
▲秦秀作氏(平北道第一部長) 十日入京同上
▲丹波敬三氏(東京帝大教授) 十日出發釜山へ
▲芥川正氏(釜山日報社長) 十日夜入京浦尾旅館に
▲李根澤子 十日夜水原より入京
▲ビリコク氏(元山駐在露國副領事) 十日夜長崎へ向け出發
▲エフ、エッチ、ナーシントン氏夫妻及小兒(米國農家) 十日釜山より入京朝鮮ホテルに
▲吉田壽信氏(廣島縣物産陳列館長) 同內地より同上
▲ダブリユ、エフ、ウエンヨン氏(英貿易家) 同內地より同上
▲エフ、エヌ、クーク氏(米軍人) 同奉天より同上
▲ビー、エッチ、クラーク氏(米軍人) 同內地より同上
▲百瀨信好氏夫妻(三井物産會社員) 十一日朝來京同上
▲エフ、コノボロック氏(露商人) 同上
▲パブスト氏 十一日朝奉天へ向ふ
▲ローゼンカダール氏 同上
▲エー、ゼー、エス、レフロイ氏夫妻及令息 平壤へ同上
▲佐々木四方志氏(鐵道局長) 十日內地へ
▲永野淸氏(警務部警視) 十日內地より歸任
▲吉川澄氏(新幕守備隊長步兵大尉) 同上
▲中島市太郎氏(三十五聯隊附三等軍醫正) 同上

列強大戰

▲露軍大捷

露都來電に曰く、ターノポール附近にて露軍は大に獨墺兩軍を破り捕虜八千大砲三十門を得たりと(九日紐育電報)

▲露軍大捷後報

タルノポール附近に於て露軍は獨軍近衛第三師團及び第四十八師團を破り兵八千將校二百を捕虜とし砲三十門機關銃多數を鹵獲せり▲トリムブル地方に於て露軍は多數村落より獨軍を驅逐し二千五百名を捕虜とせり▲ドニエスター及びセレス下流との間に於ける戰に獨兵一千は捕虜となれり(九日露都電報)

◎兵庫縣視察團

服部兵庫縣知事等二十五名の滿鮮視察團は十日朝下關出發關釜連絡船にて渡鮮せり(門司特電)

◎大阪滿鮮貨物激增

大阪驛より發送の滿鮮行の貨物激增し久々振りに停滯貨を見るに至れり(大阪特電)

◎滿鐵敷設線路

四平街洮南間鐵道線の一部四平街鄭家屯間は來春滿鐵の手にて敷設せらる可し(奉天特電)

◎鞍山站鐵鑛採掘

鞍山站鐵鑛は滿鐵にて經營することに決定し來春より採鑛に著手す可し(奉天特電)

◎寺田知事元山視察

寺田廣島縣知事一行は十日午後五時元山著市中を視察後愛媛館に投宿せり(元山特電)

◎豐山郡の降霜

咸鏡南道豐山郡地方は去る三日氣溫著しく降下すると共に降霜あり是れ本年の初霜にして例年より十日早きも農作物には何等被害無し(元山特電)

◎注目す可き空中戰爭上の發明

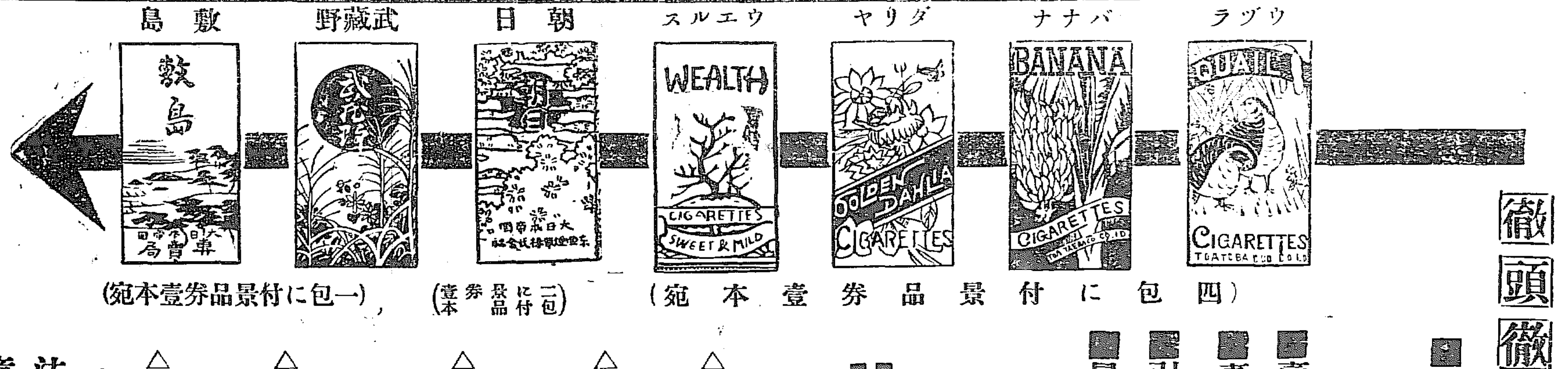
カロテトンミラン(伊太利)來電に曰くフロレンス測候所々長アルファーニ氏の言ふ所に據れば今回航空機より地上に達する著彈距離測定機發明されたり此機を用ふる時は航空機の如何なる高さより又如何なる速度を出すも能く地上の目的物に爆彈を投下して必ず命中す可しと(紐育電報)

南言北語

露の波羅的艦隊は、[illegible]日獨の艦隊をリガ灣頭に破つて、露國上下のみならず、最負の面々何れも萬斗の溜飮が下つた心地がしてリガ方面は最う大丈夫とホット一息ついたかと思ふと、今度は露軍はリガ灣を投げ出して同所は確實に獨軍の支配する處となつたと云ふ、ナアーンの事だ▲之れでは勝負も却々汗が出る許りか、拳の握りつめだやれ〳〵氣拔れ許りでも並大抵ぢやない▲獨逸のツエツペリンは倫敦を襲つた相なが、又た聲許で大した損害はなからう▲何うも今迄空中からの爆彈投下は巧く行かない樣だ、何の國の航空隊も意外に成功が尠い▲處が伊太利フロレンスの測候所長アルファーニ氏は如何なる高空からでも地上を確實に測定し得る機械を發明した▲これがあれば空中爆彈投下は思ふ樣に行はるゝと云ふ、此奴は恐ろしいものだ▲鋭利で、有効で、敵を能く殺し得る新機械が發明さる程戰局が短縮せらる、大地震でも起す機械を發明する人が出相なものだ▲秋霄一碧と迄は行かぬけれど、下界を威嚇して居た風伯雨師も、如何で道の天下の盛事に敵する事が出來よう▲十一日の京城は實に近來になき大盛況を呈した▲日く共進會の開會、家庭博覽會の開場、太平町頭に翩たる彩旗高塔は、市中を壓して、內鮮六十萬の同胞は欣喜雀躍、此の盛會を祝せぬものはない▲抑も此の如き開催は未だ創始に屬するけれど之れに由つて半島の殖産興業上に裨益する事は、蓋し多大なるべく▲仕業の發展を促進し、益々萬衆の福利を增進するは勿論である▲會期は僅ほ五十日間、今日は其の第一日である、吾曹は宜しく觀覽して、拾長捨短、大に啓發する處なかるべからずだ▲耕して收め、漁りて獲たるものは、何れも其の結果として萬人の家庭に需用せられないものはない▲共進會に於て親しく耕漁の狀況を見、家庭博覽會に於て家庭の模範を知るは、所謂一擧兩得と云はねばなるまい▲窓外自動車の警笛、馬車腕車の轣轆たる響は、太平町通りに滿ちて居る、更らに逐日絡繹たる群衆は光化門へ、或は京城日報社頭に押し寄せるかと思ふと、坐ろ欣快に堪へぬのである

共進會記念景品附大賣出し

ウヅラ　バナナ　ダリヤ　ウエルス　朝日　武藏野　敷島



(四包に付景品券壹本宛)　(二包に付景品券壹本)　(一包に付景品券壹本宛)

一本の空籤なし 景品即座引換

徹頭徹尾顧客本位

■景品は面目一新凡て實用向の物のみに御座候

■賣出區域 朝鮮全道

■賣出期間 自九月十一日 至十月三十一日

■引換期間 自九月十一日 至十一月十一日

■景品引換場所

■京龍市內
京城本町二丁目 東亞煙草景品引替所
東大門市場內 崔根鎔
南大門市場內 金弘植
光化門郵便局前 朴商店
本町四丁目 森田商店
新龍山 永濱商店
舊龍山 小山商店
■仁川市內 仁川新町仁川官煙販賣組合
■其他各地販賣店にて引替可致し候

□景品

△一等 金庫、鞄、毛布、時計、洋傘、婦人用鞄、敷島(廿五包)

△二等 蟇口、ネクタイ、シヤツ、帽子、武藏野(六包)

△三等 煙草パイプ、活動玩具、鳴鳥、靴下、鏡、タオル、煙草入、石鹸、手拭、ナイフ、石鹸入、ダリヤ(四包)其他

△四等 匙、毛拔、針金運動、コマ、豐年鳥、色紙、呼子、鉛筆、筆箱、ハ子ビー(一包)其他

△五等 マツチ、紙風船、釘、淸快丸、豆呼子、眼鏡、風琴、其他

注意 景品券は到る處の小賣店にある筈ですから上記の煙草御買求めの際は是非景品券を御受取り願ひ升

東亞煙草株式會社

朝刊と合せて十二頁
定價 本紙一部金二錢 一ヶ月金五拾錢 三ヶ月金壹圓四拾五錢 六ヶ月金二圓九拾錢 一ヶ年金五圓七拾錢 郵券代用二割增
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲三號活字一行金一圓 ▲六號活字の一行は五號活字に同じ
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 森口政太郎
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

深川在米特電
大阪株式特電
門司米特電
新油

嗚呼祝福の日よ
滿城の士女歡喜して此幸を紀念す

榮ある十一日！未明まで降りしきつてゐた雨は午前七時頃になるとカラリと晴れた、露を含んだ南山の松翠も今日は殊の外鮮かに、白く包んだ霧の上から北漢山の奇峯の聳えた姿も瑞氣を呼ぶがやう、共進會の開場第一日を祝はんとする市中は裝飾至らぬ無きに、先つきまでの雨で塵埃をすつかり洗はれ、爽快の氣溢れ、愉悅の情滿た、街行く人も何んとなく晴がましき面持

勤政殿上の光彩

午前八時過ぎ共進會場前光化門通りに立ちてあれば白衣の人兩側に堵列して開場の時を待つ間を、金箔鮮かしき總督府及び所屬官署の高官の俥影しく光化門指して走るカーキ色の軍服に

▲金光燦爛たる勳章、佩劍の響しきが之れに打ち續き、馬車を驅る朝鮮貴族の紳士にフロックコートに交る、奇き屋根、白塗の肌美しき春日燈籠の間々には白服の警官警護をさく怠らず、騎馬の巡査、憲兵又憂々の馬蹄に砂を蹴つて雜沓を避けしめんと彼方、此方に走る物々しさ、光化門には月桂冠を掛け、受附の係員はこの晴れの式に列せんとする貴族高官紳士を迎へて會場案內に頗つに忙しい、かくて午前八時半頃山縣政務總監の馬車門前に馳せつけ、つゞいて軍司令官、參謀長、師團長の馬車行列を作れる人車と相前後して來る、第一號館の橫を

▲勤政殿前に出づれば長き年月を閉鎖されたるまゝなりし勤政殿は總ての障子を押し開かれて元の玉座上に朱丹の衝立新らしき光輝を帶びて式の開かるゝを待つ、軈て九時定刻となるや、寺內總督は自動車を驅つて來場門前より徒步にて白井武官、森武官、大藤副官を隨へて徐ろに步を運び勤政殿に入る

光景森嚴にして又燦爛

折に雲の切れ目より日の光りパット射せば洗ひ淨められたる殿宇と之れを取圍む敷石に反射して眩く勤政殿の高座を中央に東に朝鮮貴族、西に山縣政務總監以下の勅任官、その他共進會役員、審査部長、審査官、審査員、評議員協贊會長以下各役員、軍司令官、參謀長、師團長李王職、中樞院の各高等官五百餘名兩側に居並ぶや兒玉事務係長の案內にて寺內總督は東側の階段より高座に登り白井、森兩武官、大藤副官之れに隨ふ、山縣政務總監は事務總長として正面の段階より壇上に上り寺內總督に相ひ對して立ち事務報告書を朗讀して開場の許可あらん事を乞ふ之に對し寺內總督開場の宣言の辭を朗讀し、山縣政務總監一揖して下れば、寺內總督つゞいて檀を下る、式は之れにて終り石塚事務委員長の案內にて寺內總督、山縣政務總監始め一同場內を巡覽する

總督巡覽

先づ第一號館を東に第一部の農業より仔細に視つゝ續けば寺內總督は一々各係員の說明を聞き時々振り返つて隨員朝鮮貴族等にその成功を語り又係員に熱心に注意しつゝ步を進むかくて總督は勸業模範場の出品を持て嫁を貰ひ、莚を持て嫁を遣るといふ說明の下に立つや

□趙重應子を呼んでその美風を稱す、東側を第二部の拓殖より最後の林業部に出で裏口を拔けて西側に移り第四部の鑛業部、第五部の水產部に行けば標本室前の海嘯の前にやゝ長時足を止めて第六部の工業部に進む、總督は豐永博士の說明にて工業傳習所生徒の製作に爲る卓子と椅子を見て又朝鮮貴族の一連に其說明を親ら傳へて微笑まる、こゝを出で東拓の特設館に入り、牛利用粮搨石拔器大模型が電氣仕掛にて廻轉せるに一同歎稱の言葉を止めず、こゝを一巡して鐵道特設館に行けば呼物のケーブルカー用意されて一同を待つ寺內總督先づ棚を入つて席につけばつゞいて山縣政務總監、立花總長、白井武官、森武官又席を占領する、榊掛道長官その他數名亦役部の席に着いたが模擬京義線を上らんとするケーブルカーは何れ劣らぬ肥大の人をのせたので一時運轉を中止すれば山縣

□政務總監は先衛として下車し、共れに傚つて三四人步道に下り立てば初めて太い鐵鎖は轢り勇しく南大門より新義州まで乘り盡し總督はこゝにて下車、階下の各陳列を見る、審勢館にては總督常に微笑を湛へつゝ熱心に見る第二號館にては恩賜授產の實況模型につき總督親ら藤波通譯官の通譯にて朝鮮貴族に說明される參考館を一巡して營林廠特設館に入る、總督は

□鴨綠江材の日本家屋を見るや家は寶物なれば買はれたしと語り閔李王職長官を顧みて『先方が買つて呉れゝば五百圓でいゝ』と笑ふ次いで機械館を經て美術館に向ふ、末松事務官の先導にて古美術の粹、古佛像の珍に時を移す數十分、それより美術館前の江西の古墳模型、同館裏の大正、隔徐の水利灌漑大模型、營林廠の後の寶物、思政殿の博愛館、會寧殿の美術參考品、御大典模型等を順次觀覽して協贊會祝賀會の開會を待つ

(上)開場當時の光化門前 (中右)總督第二號館巡視 (中左)同自働車上の總督 (下)同勤政殿前の總督

前に押し寄する人の波、

先頭第一番の入場者を捕へて『芽出度しく〜この日の第一入者よ』と名を問けば自ら鉛筆を執て『明治町二の五、松倉榮次三十八歲』と記し、『何別に

■第一番の入場を望んだわけではありませんが偶然一番館の功名をしたわけです』と大ニコ〜にて第一號館へと走せつけた、その黑の紬襟に白袴、麥藁帽子の姿の四五間も行つた時、後から後からと內鮮人の群がなだれを打つて入り來る、場外右側の春日燈籠の外を白衣の鮮人列を爲して續くを見れば『京畿道

■高陽郡觀覽團』と記したる大旗を押し立てその先頭は光化門に

まだきより晴れ渡り開會第一日の共進會々場は何となく晴れ々々敷く午前九時總督を始め多數來賓の入場した頃協贊會では此第一日を祝す可

▲餘興場に於ける萬端の用意手拔かりなく第一號館の左、東洋拓殖特設館の前から今日の會場の方に進むと昨日まで未だ何んの設備もなかつた素人角力館は厨早立派に出來上つて居る、餘興第一の呼物である演藝館には美々敷く著飾つた妓生が隊を成して繰り込んで來る舞臺から道具立てから迪に贈を入れた丈あつて餘興第一の呼物たるに恥かしくない、

は潮の押し來る樣な入場者は先づ餘興場に入つて來るもの多く、斯くて定刻が來ると演藝館が開かれ續いて他の餘興は次第に開かれて行つた(正午記)

觀覽者へ

共進會は十一日午前十一時より一般の入場を許したるが觀覽者中には巡覽の順序を案じ館內を左往右進する者尠からず斯くては混雜を免れざるのみならず觀覽者に取りても見落し其他遺憾の點多かる可きを以て成る可く指定の順路に從ひ精細に見物されたしとい

雪崩を打つて入場す

斯る中一般觀覽者を迎ふ可き十一時近き頃光化門前に至り見れば、切符販賣所前は白衣、黑衣の人の山を築き門前には警官數十名と騎馬巡査、萬一の過無き樣さ

■注意深く警護して居る、折しも漢陽公園の號砲、京龍各工場の汽笛、各寺院の梵鐘一時に鳴り響き、轟き渡る正十一時——と我れ先きにと切符片手に門達し居るに尻尾は未だ電車通りより京城中學までも續く百人位宛にて面々の面名の入れる赤旗を持てる壯觀團體入場者第一番の榮譽は即ち此大團體が擔つたのであるが、驚く可しかゝる程に開場一時間にして早くも入場者八千に達した

歡樂の園
正午の協贊會場には

前夜來の大雨も目出度き十一日は朝

此の邊一帶の夜間會場地一面に立ち並んだ寶店は早や開店して餘興開始を待ち受け來賓を迎へて居る、幾十軒となく立ち並んだ寶店を通り拔けるとこゝには娘曲馬の大きな

▲繪看板が揚つて居る、數頭の馬は早や小屋の前に並んで開場を今や遲しと待つ、こゝから一帶の地には各種の見世物が立ち並んで居るまだ建築中の不思議館の其の隣りには矢野動物園、ジオラマ館等宛然東京の淺草か大阪の新世界にでも行つた樣な有樣、午前十一時三發の煙花を合圖に京城全市の汽笛が一齊に鳴り渡るや共進會場正門と迎秋門から

胃病ならイの一番ふ
イカイ胃散
主効—飲すぎ●食すぎ●りうゐん胸の痞へ●消化不良●香酸液水出で●氣分鬱ぎ惡心●便秘頭痛●慢性胃弱等凡て胃病に妙
定價 十錢 廿錢 卅錢 五十錢 壹圓
▼諸君の胃はイカイ胃散を要求す
全國各藥店にあり
本舖 大阪市西區江戶堀 猪飼史郎 振替口座大阪七七八番

商標 登錄 赤十字印
何れの家庭にも必要なる救急藥
本劑は効力非凡の良藥諸君は是非試し見よ○全國藥店にあり
コロダイン
効能 食あたり○むねはらいたみ○はき下し○氣つけ○毒けし○惡心○めまい○不消化の時
東京日本橋上槇町 滿洲安東縣市場通 安川晃榮堂
藥價 十錢 廿錢 卅錢 五十錢 一圓

院長 岡山醫學士 村上德一
內科 小兒科 婦人科
京城醫院
京城本町二丁目(電話七四二番)

ソフト中山帽

御大典ご鳳印帽子
御大典は振古の御盛儀なりされば奉祝には浮華輕佻の風を戒む就中帽子の撰擇は最も心すべきなり弊所特製のソフト中山帽は高尚典雅にして最も相應はしき帽子なり之が特徵はシツクリ頭に合ひ普通の中山帽の如く頭に痛を覺ゆる事なく頗る冠り心地良好なるにあり
實用新案 大阪 高橋製帽所

京城本町二丁目
荒井支店
電話二八八七番
釜山 本店
荒井旅館
電話七四三番

朝鮮總督府
文武官及警察官
刀劍類
詳細ハ御一報次第御回答申上候
東京市芝區露月町十七番地
御用達 渡邊文
電話芝 千七百七番

西洋手品
松旭齋天勝嬢東京興行記念として四季の宴ち大喝采を博すべき嶄新なる奇術集一千部限り本紙愛讀者に無代贈呈す速に往復葉書を以て申込まるべし
東京麻布森元十二 帝國奇術協會興行部

（明治四十一年八月十八日 第三種郵便物認可）

歡聲樓に滿つ
盛なる家庭博覽會の開場

前夜來より氣遣はれたりし天候全く恢復したるは共進會日和ともいふべし、家庭博覽會日和たりとも謂ふを得べし、十一日正午午砲一發、殷々の響きを傳ふるや豫ねて定められたる如く家庭博覽會は正門上の音樂室より奏で出づる自働オーケストラの君が代につれて開會せられたり

これより先き開會約一時間前より正門前に押寄せたる日鮮の群集は出札開始と同時に潮の如く押寄せたるが

▲群集の中 には共進會開會式より歸途らしきフロック姿の紳士あり、朝鮮上流家庭の婦人らしき人の家族相連れて入場するあり、殊に開會と同時にいの一番に入場したるは開會前より正門前に待ち居りし法學士辯護士中村時章氏にして瀟洒なるモーニングコートを著し夫人、母堂と共に入館したり此の時會場の內外より俄かに湧き起れる拍手喝采に開會劈頭の入場者一同は喜色を漲せつゝ第一號館にと歩を運びたり、それより引つゞきて會場前の群集は次ぎより次へと詰めかけて一刻も絕ゆる事なく

▲踵を接で入場せるを見れば、婦人連最も多く、老幼男女一家打連れての來觀者少なからず、豫期せる如く吾家庭博覽會の一般家庭に重要視され歡迎せられ居れる事實を十二分に推定し得る最も光榮ある愉快は之れによつて遺憾なく立證せられたるは頗る滿足に堪へざるところなり、會場にては第二號館橫の

▲音樂室 にては壯快なる各種の進行曲を奏し陸續として絕えざる觀覽者を送迎すると共に一時頃より餘興として場上より高杉特油店京城出張所の景品を附せる風船數百個を飛ばするあり大盛況を呈したり

家庭博覽會開場刹那の人波

萬歳聲裡出發
兩撰手意氣軒昂矣

豫て多大の感興を以て迎へられたる本社主催鐵道大競走の序幕は茲に十一日共進會開會當日の午前を以て開會され、南北兩選手共愈々午前八時四十分といふに南大門驛を出發した

此日夜來の雨漸く歇まり朝暾嫋々として輝き出づる南大門驛頭には驍騰たる奏樂聲裡南北兩選手の

▲行を壯ならしむ 可く見送の人々群集し先づ鐵道局よりは小城技師、岡村技師、三木參事、橫井技師、村瀨、安藤兩參事、一ノ瀨驛長等を始め其他選手の知己諸君本社員等數十名の見送りありて一同驛頭

▲特別待合室前にて記念撮影を爲し兩選手は間も無く南行の釜山行急行列車の客となれば竹下氏令孃は撰手のために

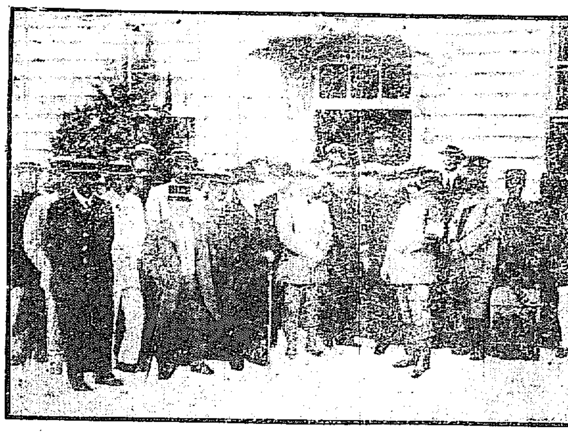
花環を呈しプラットフォームは奏樂の聲流れ渡りて壯觀云はん方なく定刻八時四十分ともなれば破るゝが如き萬歳聲裡に兩撰手共意氣軒昂茲に朝鮮滿洲臺灣鐵道大競走の旅程に上る、さて此の後は南北兩選手の行衛は

▲何處？ 壯快なる此の大旅行を如何に兩選手が試みんとするか、北は滿洲の曠野より、南臺灣海峽の洋上より諸君に齎らさんとする電報通信はそも

▲如何なる快絕の ものであらうか蓋し刮目に値するものであらう。斯くてお待兼の大競走は愈よ十一日午前八時四十分から開始された、南が勝か北が敗るか暫くの慰みである、兩選手は同時に南行の急行列車に搭じて去つた、これからさき南北兩選手が如何なる神籌鬼策を回らさんとするか諸君は今後の壯快なる電報通信を待たれよ

花の人波
藝妓妓生の行列

京城兩券番藝妓、廣橋茶洞兩妓生組合の市中を練つて歩いたのは共進會開會當日の花であつた此日朝の內雨があつたゝめ兩券番とも囃屋臺の組立が出來ず豫定の九時出發が遲れて十一時過ぎになり中券を先きに京城券これにつゞき各々紅白の綱に結びつけた屋臺を曳きつゝ釘本委員長券番取締付添ひ賑かな都囃子につれて京城ホテルを發し先づ總督官邸までゆき此處に行列を止めて釘本委員長の發聲で萬歳を三唱したのに對し官邸から執事が出て厚くこれを受けそれからごつと景氣ついて壽町から本町三丁目に出ると永樂町通りの道路には十重二十重の人垣を築いて押合ひへし合ひ前へ前へと進み出ようとする人波は凄まじいばかりだ、本町通りの各店の店先二階から此の行列を見ようと折重なつてる市中を練つて府廳前に出れば此處には行列を見ようと時刻を計つて八時過ぎから三四時間を立ちつゞけてゐた見物は矢張り詰めき合つて道路に押し出してくるので電車は暫らく立往生をする騷ぎ、此處で鳥渡休んで更に行進をつゞけ鍾路に出其處から光化門の會場へと繰込だ叉兩券藝妓と行列を共にする筈であつた妓生側は藝妓側の來るのが非常に遲れたため十時半頃茶洞妓生組合を先きに廣橋組合背俳優組合之れにつゞき茶洞妓生は揃ひの著物に赤地に金文字にて始政五年記念と表はした襷を懸けて空色の洋傘を揃へ廣橋は同じく揃ひの衣裳に黄地に赤文字で始政五年記念と表はした襷に薄桃色の洋傘を揃へ勞しくこれを翳しながら鮮樂隊を先頭に繰出し總督官邸に到り通重職子の發聲で萬歳を三唱し執事の挨拶があつて順路を辿つて市中に出たが何しろ妓生が列を爲して市中を練るのは開場以來始めての朝鮮風俗に新記錄を造つたものである上に多人數の事とて沿道の鮮人の群集は更に物凄く人波を造つて道路に崩れ出る樣で[illegible]の制止を容易に肯かぬ位だつた


南大門驛頭の兩選手

仁川水族館開かる

數日來の雨天は十一日に至りて一天快晴となつた仁川の各町は日の丸の國旗を交叉して祝共進會と染め拔かれたる提灯は家毎に軒を並べ本町宮町仲町を始めとして各町の道路兩側に並列されて其他各町共思ひ思ひの裝飾を施し市中は非常なる美觀を呈し來つた午後一時より水族館開館式は執行されたのである旣に定刻に達した時は萬餘の群集は水族館前に押し掛け詰め掛け立錐の餘地も無く水族館構內は隈なく萬國旗が張り廻され本館は階上階下紅紫黄の裝飾紐が縱橫に走つて居つた、其の間に無數の小旗が翩飜として會場構內の休憩所から各種の賣店は種々な裝飾が施されてあつて晴れ渡[illegible]ら晴出して居る當日の式場に招待されたる五百餘の人々は設けられたる階に案內され愈々開館式となつて第一番に中村技師代理者の建築報告あり次に久水協贊會長登壇し式辭を述べ次に道長官の告辭は深尾第二部長代理として朗讀し[illegible]の祝辭あり閑遊園に移り午後三時閉會したが頗る盛會であつた

全市裝飾
仁川の意氣込

▲水族館接待 地方より水族館觀覽者を迎ふる爲め仁川租界兩驛には大歡迎門を設け大國旗を交叉せる外接待部員日本人四十五名鮮人六十名の內每日日人十名鮮人二十名兩驛に出向きて觀覽者の案內に任ずるが團體觀覽者の爲めには殊に案內を附し水族館、築港、日本各國兩公園、觀測所、稅關、軍艦、水道水源地等を案內せらるべし

▲開館時間 水族館開館時間は晝間は午前は九時より午後五時迄夜間は午後六時より同十時迄なり

▲本町の意氣込 本町四丁目にては何に事か觀覽者をあつと云はすべき大々的の催しをなすべく秘密に計畫中なり

▲仁川案內配付 仁川協贊會にては仁川案內十數萬部を調製し觀覽者に配布する由なるが仁川宮町附近は宮町案內を觀覽者に無料贈呈する由なり

▲各係員徽章 協贊會各係員の徽章は會長白色菊花、副會長黄色菊花、理事[illegible]菊花、庶務部員淡紅色菊花、接待部員紅白菊花、[illegible]紫色なり

▲宿泊値段 水族館開館中仁川[illegible]宿泊値段を聞くに團體(一泊二食)特等三圓五十錢一等一圓八十錢二等一圓三十錢三等八十錢團體中食料特等一圓一等八十錢二等七十錢三等五十錢學生團體宿泊料(一泊二食)自五十錢至七十錢學生團體中食料自十五錢至二十五錢個人宿泊(一泊二食)特等三圓十五錢一等二圓二十五錢一等一圓八十錢三等一圓三十五錢四等一圓十八錢五等九十錢六等七十二錢個人中食料特等一圓三十五錢一等九十錢二等七十二錢三等六十三錢四等五十四錢五等四十五錢六等三十六錢なり尙仁川租界兩驛よりの車賃左の如し

	仁川驛	租界驛
稅關	一錢	一六錢
各國公園	一四錢	一六錢
府廳前	一四錢	一六錢
會議所	一四錢	一四錢
水族館	一四錢	一四錢
築港	一六錢	一六錢

京城雜穀

[illegible]

仁川期米

[illegible]

▲大阪商況入す

[illegible]

共進會と自動車

通常乘車賃表

四人乘 一時間 金參圓
六人乘 一時間 金三圓五十錢

但し增時間は十分間五拾錢の割

基點往復時間（御參考）
□京龍御回覽 約二時間 □南大門停車場 十分
□淸凉里御陵 五十分 □日の出町學校 十分
□動植物園 二十分 □蠶島 一時間
□龍山停車場 三十分（基點は店）

特に共進會並に家庭博覽會行き御乘客の御便利を計り三十分間以內は（四人乘壹圓五十錢 六人乘貳圓）にて御注文に應じ申べく御電話次第直ちに廻車御迎申上べく候

黃金町一丁目
京城自働車商會
（電話一〇二九番）

京城北米倉町
嶋屋市內販賣部
電話九〇三番
發電（シマヤ）

京城岡崎町
部味噌製造元
醬油製造元
諸漬物問屋
嶋屋本店味噌部
電話二三三〇番
振替京城五七番

□□秋景色になりました□□

朝夕餘程凉しくなりました、天高く馬肥え味噌汁の味の好い季節となりました、味噌汁は日本人の食膳には缺ぐ可らざるものであります

おやま味噌の特色

美味にして滋養に富めること
風味も高尙なること
經濟上德用なること
配合の理想的なること

他品になき特色を具備して居りますから壹度是非御試味御願致します

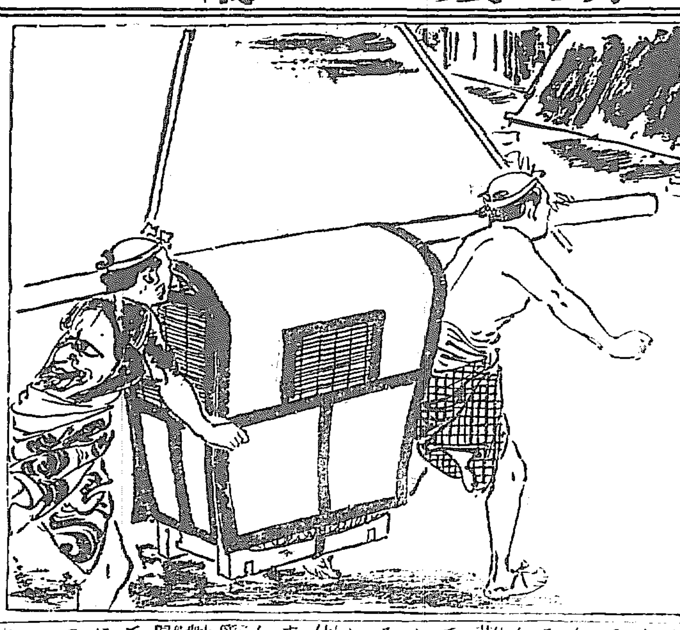
電話九〇三番二三三〇番に御用命被下候はゞ遠近多少に不拘早速御屆け致します
地方より御注文又品は早速荷造發送致します

保險金受領廣告
一、金壹千圓也 被保險人 金ケ江ユキ
右大正四年三月中日淸生命保險株式會社と契約致置候處今回死亡に付き頭書の金額正に受領致候間此段江湖へ廣告候也
大正四年九月十日
慶尙南道南海
保險金受領人 金ケ江鶴助

大岡政談 越後傳吉

第百五十席

桃川如燕口演 浪上義三郎速記



多田新之助先生兄さんに勘當されて據なく佐久間町の八百屋武助の二階へ厄介になつて毎日なす事もなく暮して居る、武助夫婦も親切者で殊にお妻は殿からの言傳があるから大切に待遇して居る、處が新之助一向平氣で金のある中は飲んだり食つたり遊びに行つたり三日も四日も家を明けて間の抜けた時分にブラリと歸つて來る、武助が『若旦那何處へ往て在らつしやいました』新『ナニ何處へ行つた間抜けな男だ、三日も四日も野宿して居られるか考へて見ろ』武『恐入りましたな、吉原で』新『云ふだけ野暮といふものだ』武『ヘエー併しどうも若旦那、それぢやア御勘當は仲々お詫が叶ひません、少しはどうも御謹愼なさいませんぢやア若旦那可けません』新『宜いて工事よ、勘當結構離があんな窮屈な屋敷へ歸ろ奴があるものか、小遣は姉上が送つて呉れる、喰ふのは貴樣の所に居て喰ふ、結構な身分ぢやアないか』武『貴所は結構でも私はちつとも結構ぢやアない、武助の所へ預けてから段々惡くなつたとお姉さまに恨まれます、些とはどうか御改心なさらなけりやア可けません』新『まア宜いて工事よ若い間の仕事だ』けれども何だな武助、世の中は苦勞した者でなければ話しは分らんな』武『さうでございます』新『どうも女郎買の一つ位したものでなければ人間の部に這入らない』武『あなたがさうでもございませんが』新『ナニさうだ傾城に誠なしとは譯知らぬ野暮な口から意氣過ぎな……』武『叱つちやアいけません』新『まア之は贅へだが貧に感心なものだ』武『何でげす』新『貧は白菊に遇つて斯なだと話しをしたら褒のために主にそんな苦勞をかけて濟ません、勘忍して呉んなんし』武『好色な』新『定めし勘當のお身の上でお小遣ひにも困りんせう少ないけれども當座の凌ぎといつてな白菊が已に金を五兩呉れた』武『ヘエー結構で』新『結構ぢやアねへ、凡そ吉原初まつて女郎が客に小遣ひを呉れるなんてエのは前代未聞だ』武『成程』新『どうも已は餘程色男だな』武『ヘ、エ左樣で』新『其から白菊がさういつた、今居るのは何處だといふから神田佐久間町の八百屋だといつたら、定めし食物が惡いだらう、道理で少し痩たやうだ芋の尻尾や人參の切ッ屑ばかり喰せると見える、家へ歸つたら武助にさういつて、偶には滋養物を喰せるやうにしろ……』武『冗戯仰しやつちやアいけません』新『マアどうも其位ゐ花魁が已を思つて呉れる義理としても往かずにやア居られないだらうぢやアないか』武『ヘエー御尤もさまで』新『まア何だな男と生れたら一度は己のやうな色男になりたいものだな、氣の毒乍ら貴樣なぞは斯ういふ經驗は出來ない、生涯芋や大根に親しんで詰らなく世を終つて了ふのだ』武『冗戯仰しやつちやアいけません、芋や大根に親しむ所といふのがあんもやアない』武助も手が著らないから呆れて居る、錢のある中はいいが終ひに錢がなくなると方々へ借を造らへる、十四日三十日に酒屋から書付が來る、料理屋から勘定書が來る、八方十方からやつて來るから武助も堪らない、當人は一向平氣でブラ/\遊んで居ります、所とんだ者を引受けたと夫婦は滾して居る、了ひには困なしくなつて 新『オイ武助少しばかり貸して呉んな』武『若旦那又ですかへ』新『又つてつたつて顔を見なけりやア女が死んでしまふ』武『冗戯ぢやアありませんよ、困ろむやアごはせんか』新『困る事はない樂めて從て姉上から取つて呉れ』仕方がないから武助が小遣ひを渡すとブイと飛出して三四日ブン流してスッテンテンになつてしまひ駕籠へ乗つて歸つて來る 新『ヲイ若い衆御苦勞だ其處へ付て呉れ、武助今歸つた、何だ駕籠屋に一分二朱拂つてやつて呉れ、ヲ、武助今日は馬鹿に汗をかいたやうだからな一分宛やつて呉れ』武『ヘエ若旦那一分宛……』新『吉原からの駕籠だぜ』見つともねへ事をして呉れなさんな』武助は甚いた 武『冗戯ぢやアございません若旦那、世の中に貴方位ゐ圖々しい人はない』

五百年來家傳製法 一家の經濟に御金所にあり安くて滋養になるのは
三味噌
限り升●電話にて御注文被下候はゞ直に御届致し升
京城太平通二丁目 遠藤商店 電話九八二番

●御●大●典●書●帖●無●代●進●呈
千載一遇の御大禮を諸賢と共に祝し愛に優美なる記念書帖を謹製し二萬部限り無代進呈す御望の方はハガキにて御申込あれ即時郵送す
大阪市南區竹屋町二五 みのや呉服店

胃病新藥 マーゲン
最新療法
大阪上本町五 田畑保榮藥房
特約店 京城南大門通二 新井藥房

演藝案内

壽町 壽館 電一〇五〇
八月十日午後正六時開演晴雨に不拘日延なし 東京師匠連送別演藝温習會▲今樣望月石橋▲匠▲娘道成寺▲おどり音船▲神社▲吉原雀▲おどり志賀山三番叟▲おどり元祿花見踊▲歌舞伎十八番勸進帳▲七福神樂部總出 ●主催 京城料理屋組合、中券番、京城券番

御成町 御成座 電話一一九一
九月四日首八十九個目 …新派劇進歩團一行を招き開演致します

明治町 浪花館 電話二六〇
革新浪花節花川圓玉一行來る 今晩の讀物△大高源吾(第一席)△水戸黄門記(第一席)△姥捨山(京山嶺壽)△大石御襲獻上、豐臣三羽烏右二席(花川圓玉)

龍山 佐久良座 電六四八番
東京新派劇大江義雄一行 九月十一日開場

黄金町四丁目 黄金館 電話二六三七
…活動寫眞株式會社御一手代理店 九月八日より寫眞全部差替 …『戰友』○喜劇『白馬』…

黄金町 世界館 電一四三四番
本町有樂館へ移轉の爲休館仕候

櫻井町 大正館 電話八七三
九月十日より寫眞全部差換 …○新派喜劇『埃溜箱』全…○舊劇『加賀鳶』全…

月やく 止り
他の藥を用ひ
劾なき御方は他に類なき水藥にて害なく下りる良藥三錢切手封入御手紙下さい至急御知らせ申します
靑岡縣舞阪町 西村

らい病
變ふ秘密の療法あり 勿れ
●手足のしびれ●なまづ樣の斑紋●水ぶくれ●ふ樣の結節●眉毛頭髮ぬけ●藥粒樣の腫物等に惱む方は早く切毛二錢送れ一家一族の不安を除かれよ
治減し秘法を敎ふ善は急げ
大阪市南區笠屋町四八 山田光治郎

下痢ゲリ止みましたか

消化と毒けし 信丹
召上りましたか
金言 眞實は決して老死せず(英國俚諺)
仁丹は胃腸を强健にす!

目録送呈
◎完全無比 實用經濟の 覇王グラス萬年筆

米國パアレット會社製 最新インキ止式 眞正十四金ペン先付
●諸官衙銀行會社其他團體にて多數御購買の向へは特に割引仕候
●朝鮮總代理店
京城本町二丁目(電話四五番) 振替京城二五六番 釘本藤次郎本店

會員募集
■ロ◀新學期開講▶ロ■
◎藥劑師となる最近道は本會發行の講義録に限る▽大特典あり入會の好機
薬劑師試驗規則は大正十年より改正實施せらる今や戰役の活躍と成功の提徑は藥劑師となるに限る
東京 藥學講義録
本會講義録は斯界第一流專門大家の執筆に成り學説最新、内容豐富、短期卒業且に斯界の最高權威也
講師 飯盛ドクトル 大河藥學士 神谷藥學士 小島藥學士 野口文學士 村山藥學士 有賀藥學士 望月藥學士 稻田藥學士 稻森大藥劑士▽見本つき會則 申込次第送呈 往復ハガキで
會費月七十錢 卒業八ヶ月
東京市神田區表猿樂町五 東京藥學會 (振替口座東京一三一七五番)

朝鮮彙報

共進會記念號

大正四年九月一日發行

朝鮮彙報共進會記念號

本誌は本年九月始政五年記念朝鮮物産共進會の開催に際し朝鮮總督府の定期發行に係る朝鮮彙報の特別號として發刊し本文を十一章に分ち其の筋の最も精確豐富なる材料に依り該共進會の状况を詳述するの外朝鮮百般の事項に亘り併合後五箇年間に於ける進歩發展の事績を細叙したるものにして共進會觀覽の希望を有する者は勿論苟も朝鮮の實况を研究せむとする人士は必ず其の一本を座右に備へさるべからさる好個の指針なり

主要目次

○口繪 共進會會場全景、第一號館、第二號館の内部、機械館、美術館、參考館、審勢館、參和館、二階館、全景、京畿館の一部

○挿繪 朝鮮各地の風俗、景勝、建築物、産業状况其の他各般の施設約百箇を掲載す

○記事 共進會状况を詳述し、更に併合以後の歴史、地理、人口、風俗、中央地方行政、敎育、宗敎、財政金融、交通、産業、貿易、司法、警察及衛生の諸章に分ちて併合以後五年間に於ける施政の進歩、産業の發展、經濟力の伸張等朝鮮開發の實况を精細に叙説す

○附録 外金剛隨行記、朝鮮經濟力の進歩を示す統計及最近五年司法成績の統計を掲く殊に朝鮮經濟力進歩の統計に於ては朝鮮の外帝國本土各殖民地の統計を併記し比較研究に便ならしむ

●本誌は特殊の意匠を凝らしたる美麗なる表裝を施し特に口繪寫眞版及挿繪を增加したる體裁好き二百八十頁の大冊子にして代價は特に定期月刊の彙報と同しく金二十五錢とす

●本誌は京城各書店其の他朝鮮内各地書店に於て販賣す

機械油カーバイド
車軸油、機械油、輕油、重油、製造販賣 日本石油會社 機械油九州一手販賣 信濃電氣會社カーバイド西部一手販賣
本店 門司市錦町(電話四五一番) 製油所 新潟市笑屋大川前(電話四三三番)
岸商店

天然葡萄酒
天然葡萄酒とは混成酒にあらざるの美稱にして貧血虚弱者並に婦人産前産後の營養料として全國の各病院大醫の常用を蒙る生葡萄酒也
白札、銀線、金線、紺札、冠印、金札、六種共全國の信用ある藥舖洋酒店並に洋物店に有之御最寄にて御購求奉願上候
發賣元 東京市京橋區鈴木町 振替口座東京七五五八番 長井越作
關西代理店 大阪東區道修町 電話本局六百一番 藥種商 田邊五兵衛

酒精アルコール
手印最上等品々◇KK◇印爪印産格安品各種新荷著取揃居候間御照會次第特別勉强直段御通知可申候
酒精直輸入一手發賣元 仁川京町(振替口座京城六八番) 鬼頭兼次郎商店

申す迄でも無く 運動具はシノサキへ
京城本町二丁目 篠崎運動具店
秋期カタロク進呈

皮黴科
皮膚病、黴毒淋病、生殖器機能障碍
診察夜九時迄、日曜祭日午後二時迄、入院隨意
京城明治町二丁目 佐藤醫院 電話一一七三番

だいがくめぐすり
大學目藥

商標 登録
「内外各處に賞用せられ 效能最も卓越せるは本劑なり」
●定價金十錢廿錢(郵税二錢)三十錢(郵税四錢)大瓶五十錢(郵税八錢)●各地藥店に在り
大學目藥は帝國醫科大學醫院の處方に基きし貴重の製劑にしてはや目●星目●トラホーム●のぼせ目●疲目其外眼病一切に驚くべき効能あり●十歳以下の小兒の爲別に小兒用大學目藥あり
大阪北濵壹丁目 參天堂藥房

商況

本日寄附 東株新 一五二、三〇 一五二、三〇 東株第一 一五一、六〇 一五一、七〇 東株第二 一二六、九〇 一二六、六〇 鐘紡第一 二二五、九〇 二二五、五〇 止め 二三〇六

東京債券現物特電 (十一日前場)

十一日 朝鮮米 四五、五七八 堂島米 內國米 一八五七、七〇三

大阪三品特電 (十一日前場)

宇治川水電 … 神戸電鐵 … 京阪電鐵 …

大阪期米特電

…

松茸引返す …

生魚市場

南大門の穀米 …

京城日報

第三版

年中無休刊
(大祭祝日翌日休刊)

發行所 合資會社 京城日報社
印刷人 太平通一丁目

大阪期米特電(十日)

仁川米豆取引所

▲後場の諸戰

▲鞘の續く

京城日報
支那國體問題

袁世凱支那共和大總統憲法施行を中止し國會を解散して總統府專制政治を行ふや、世間皆支那の共和政治は此に終れりと爲し、袁大總統の執政官政治は、やがて君主政治となるべきことを想望したるに、果せるかな今日に及び國體變更運動起り來れり。從來支那人中に、袁大總統に皇帝の尊號を上らむと主張するもの尠からず、最近に至つて籌安會なるものあり、專ら之を鼓吹し、張勳、張作霖及び湯薌銘等武人中の有力者相應じて國體變更を唱ふるあり、初め一部論者之に反對したれども、今は沈默して復た言ふものなく、大勢は既に定まれるもの丶如し、即ち是れ國體變更其功を奏したるものと見るを得べきか。

此國體變更運動に對しては、支那人自身よりは寧ろ支那に關係ある他の國民の議論甚だ喧しきもの丶如く、支那政治家亦最も重きを列國政府の意嚮に置くの實あり、蓋し往年清朝沒落の日に當りて、關係列國皆支那の統治機關の缺如を憂ふること深く、袁世凱氏其事に當るに及て、列國政府皆之を援助して其業を全ふせしむることを期す、列國政府豈袁家に私するものならんや、其志支那の安全を保つが爲めに、其事に當る人を助くると云ふのみ、故に袁大總統にして自ら帝冠を戴かむとするに躬ら、これが爲めに支那の擾亂を誘致するの虞あるが如くば、列國政府は決して其を是認することなかるべく、袁大總統にして假令共和稱號を襲じて皇帝と稱するも、列國は之を承認すべきに躊躇して、猶豫自ら決する能はざるの情ある所以なり。

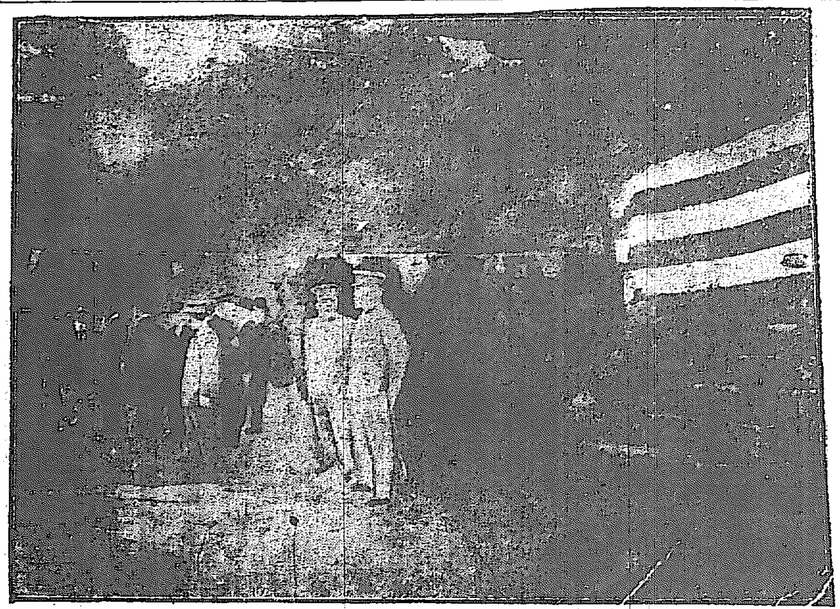
尤も支那人の國體變更を主張するものは、必ずしも袁家の爲めに說くものゝみにあらず、少くとも、其表面上の理由は、支那のごとき國情を有する處にては、共和政體は甚だ機宜に適せず、其政を爲すものは必ずや皇帝の尊號と威嚴とを保たざるべからずと云ふにあり、其言一應は尤もなるところあり、英吉利の主權者は本來Kingと稱したれども、印度を統治するには最上の稱號ならざるべからずと爲し、千八百七十六年ヴイトリア第三十九年第四十年法律第十號を以て、大不列顛及び愛蘭王は印度皇帝の稱號を稱するを宣布し、是れより印度帝國と號す。東洋諸國民皆最上の稱號を有する君主の下に其國を成すの歴史を有するものにありては、爲政者の威嚴を缺くときは其統治に安んずる能はざるの觀あり、支那人民其數百年奉戴することの皇室を失へるは、此點に於て一大不都合たらざるべからずして、折角共和政治を創造するも、遂に其實を擧る能はずして以て今日に至る。今や袁大總統、頗る自ら皇帝たるべしといふものと、袁氏の長子を推して帝位に即かしめ袁世凱氏其攝政たるべしと爲すものとある一方には、舊滿洲朝廷再興を說くものすらこれ有りといふも、是等紛々の事は皆支那人間の問題に屬し、吾人の與り知る所にあらず、只支那の如き國情を有する處にては、爲政者に最上最高の尊嚴なかるべからずといふことだけは、此國體問題に鑑みても甚だ明白なりと云ふ可し。

避暑漫筆
大谷光瑞

十、天然と人

天然は偉大なる靜なり人は最靈たる動なり、天然は靜を以て貴しとし人は動を以て貴しとす、天然にして靜を捨て動に從らんか天變地異災害の及ぶ所測る可らず、地球や丶定つてパレヲゾイックの紀に至るや漸く生物の生息するを得たり、而してメソゾイクに至るも活動を止めず、ターチアリーに至つて稍靜に赴かんとするも猶火成岩の爆發を所々に起せり、漸く靜に歸せるは近時のみ、天然既に靜にして生物始て安し、理學者猶云ふ地球靜に非ず活動を繼續せりと、之れ昔日の餘習猶微動をなせるものにして、概論せば既に靜のみ、人にして動を去り靜に移らんか、晝夜酣眠東亞非利加の睡眠病者の如し、時に輾轉反側すと雖も此れ動に非ざるなり、夫れ靜の極は死なり、之を呼ぶ答へず之を推す動かず、死は既に人に非ず、人の要は生にあり生の要は動にあり、故に云ふ、天然は靜を以て貴しとし人は動を以て貴しとす、然れば人と天然と相離るや人終に天然に克つ能はざるか、夫れ靜の有する偉大なる力を動之を用ひ始めて靜に克つ之を用ひざれば動終に靜の敵に非ざるなり、佛經に於ては靜を三昧(Samadhi)と云ひ定と譯し動を般若(Prajna)と云ひ智と譯せり大威力を發揮せんとするや三昧に安住し大光明を放出するや般若に由る光明とは智慧にして動力を顯はす是實に眞理にして凡そ動を欲せば必ず靜中より偉大なる力を求め之を用ひざるべからず之を行はんとするや學による科學は天然を究るを目的とす靜中の偉大を知らんとするや之に因らざる可らず而して之を用ひ動力となすや工學による工學は人の天然に克つ戰術にして天然の有する偉大なる力を拉し來り以て天然を攻む是玉を以て玉を鑽るの類なり故に工學漸く盛にして人始めて天然に克つ近時の例に徵するにスヱス、パナマの天然は終に人工に敗れりアルプス、アンデスの險も亦之を阻む能はず翼なくして天半を翔り鰭なくして水中を行く、耶律晋卿曰く『天王赫怒山無神』と工學の前には山川溯海又神に非ず敢て天王の赫怒を待たざるなり工學愈盛にして國增強し故に云ふ工學は人生最も偉大なる學術なり人間に工學を以て天然に克て人と人と相爭ふや何を以て勝を得んや人の勝利は活動の多寡と正比例す人にして動かざれば身死す國とは天然の山川を指すに非ず人の集團を云ふ故に國にして動なくんば國亡ぶ古語に曰く敵國外患なくんば其國亡ぶと上古の支那人は既に至言をなせり秦の滅亡の如き元の滅亡の如き是の適例にして唐宋の久しきに及べるも又此の反證なり(未完)

八月五日大連に於て



共進會開場祝賀園遊會場に於ける寺內總督
(總督の右側に立てるは井口軍司令官 前方なるは山縣政務總監川村師團長)

○四年大學案等決定

高田文相の四年大學案は豫科本科の區別及び現行專門學校令との關係等につき調査討究中の處十日以來文相官邸に於て大臣、次官、田所、松浦兩局長等參集熟議の結果四年大學令立案の根本方針、並に之れに關連したる學位改正專門學校令との關係を決定せり其の大要左の如し

大學令

一、大學は修業年期を四年以上と定め中學卒業者若くは之れと同等以上の者を入學せしめ豫科本科の區別を定めず豫備教育は之れ專門教育に關する取捨選擇は總て當該大學の主義方針に一任す

一、大學は一科若は二科以上よりなり官公立並に財團法人律を認可す

學位階制

一、學位は之れを稱號とし各大學より之れを授與せしむ

一、大學院又は研究科にありて五箇年以上專門の學術を修めたるものは博士授與試驗に應ずることを得

以上は四年大學案並に學位改正の骨子なるが現行專門學校令との關係は結局左の如く決定せり

專門學校令改正

一、中學卒業者を收用し之れに二箇年以上の專門教育を授くる處を專門學校とす

一、即ち教育の方針に於て一方は重要なる教育並に專門教育を授くる處とし一方は單に專門教育を授くるを以て區別し修業年限に於て一方は四年以上とし一方は二年以上として之れを區別せんとするものなり(東京特電)

○代議士渡鮮延期

衆議院代議士二十餘名は朝鮮視察を兼ね共進會觀覧の爲め來る二十六日渡鮮の筈なりしも當時恰かも朝鮮赤十字大會開催中にて閑院宮殿下台臨中にて政務調査に差支へある爲め出發期を十月五日に延期したり(東京特電)

列強大戰亂電報

▲墺國大使召還要求

華盛頓來電に依れば米國政府は駐米墺國大使が米國々内の軍需品製造工場に同盟罷工を勒發せしめんと目論見たるを理由とし墺國政府に向つて同大使の召還を要求せり(紐育發)

▲米國より墺國へ通牒

華盛頓來電に依れば米國政府は維納政府に通牒を發したり同通牒は駐米墺國大使ヅムバ氏が米國政府の旅行劵を所持せる一米國市民に託して維納に送致せしめたる書翰は個々該米國人が途中倫敦に於て英國官憲の爲め抑留せられたる際發見せられ之れに關する報告は右書翰の寫しと共に華盛頓に到著し米國政府は之れを基とし審査の結果ヅムバ大使は米國に於て陰謀を企つべき旨を自ら容認せるを記し斯かる行爲は外交上の禮儀を無視するの甚しきものなりと云ひ最後に米國は米墺兩國の友誼的國交を繼續すべき希望を有すと云へり(紐育發)

▲倫敦襲擊
獨逸飛行船

ツエッペリン飛行船倫敦に來襲し爆彈を投下す之に對して飛行機射擊砲の猛烈なる砲擊ありたり(倫敦發)

▲戰勝吉兆

露都來電に依れば露軍の勝利は露帝の新統帥に對し吉兆なりと祝せらる中央戰線に於て頑強なる戰鬪引續き進行中なり▲波羅的沿岸に於けて獨軍は露軍の頑強なる抵抗に遭ひ其の前進運動は遲々として進捗せず(倫敦發)

▲露軍破らる

マッケンゼン軍はピンスク前面一帶の露軍を破り露軍はカルッスカヤ及びベレサ兩地を撤退し今やピンスク及びミンスク方面に退却しつゝあるもの丶如し(紐育發)

▲獨軍退却

獨軍はランツ、ヤコブスタット兩河間に於て露軍の突擊に遭ひ退却せり敵はウイルナ附近に於て塹壕工事を行ひつゝありトレンブーラの西南方セレス河畔に於て露軍は七八の兩日捕虜七千機關砲三十六門を鹵獲したり九月三日以來露軍はセレスゼンセンに於て捕虜一萬七千名機關砲六十六門を鹵獲したり(露都發)

▲墺軍要塞占領

墺國側の公報に據れば墺軍はデュブノ要塞を占領して同市に入れり同地はレムベルグの東方に當りウオリニア州の三角形地の第二點に當れり(倫敦發)

祝始政五年記念朝鮮物産共進會開會

キリンビール

共進會第二會場内蓮池畔に於て眺望絶佳なる個所を特に撰みビヤホール開設「キリン」獨特の樽入生ビールを販賣し洋食はおなじみのカフェータイガー和食は京城に於て甘いものやの御評を蒙り居れる白水出張各々其獨特なる伎倆を以て和洋料理とも御好みに應じて直ちに調進殊に至極輕便なる「バー式」設備も有之候間御來觀の節は御休憩旁是非御立寄りの程偏に奉希上候

尚場內に於て最も大なる食堂の設備あるは獨り當「キリンビヤホール」のみに有之百人樣位迄の團體御食事等は優に引受得られ且つ五十人樣位迄の御宴會には別室を提供可致候間御希望の御方は陸續御用命御引立の程奉希上候

發賣元 株式會社明治屋京城支店

列强大戰亂電報

▲英艦隊の全海岸砲撃

ダンケルク來電に曰く三十四隻より成る英國艦隊は七日朝オスタントまでの全海岸線を砲撃せり(倫敦發)

▲飛船襲英

英國海軍省發表の公報に據れば八日夜二隻の獨逸ツェッペリン飛行船が英國海岸を襲撃せる際十三名の即死者を生じたり英國の航空砲は直に砲撃を開始し英飛行機も亦追撃の爲め飛翔せるも敵飛行船は終に遁逸し其行衛を見失ひたり(倫敦發)

▲露國皇帝出發

露國皇帝は軍需品燃料食料運輸に關する國防會議の開會式を行ひ國家唯一の目的は露國領内より敵を驅逐するにありとの勅語を賜り同日皇帝は戰地に向け出發せられたり(露都外電)

◎朝鮮と徽章授與

從來警察官吏及び消防官吏の功勞徽章の授與は内務大臣に於て執行されしが朝鮮に於る分に對しては朝鮮總督之を執行することとなれる旨十一日の官報にて公布されたり(東京特電)

◎九月上旬貿易

大藏省の調査に係る九月上旬の對外貿易は輸出二千五百萬六千圓輸入千六百七十二萬三千圓にして差引六百三十三萬三千圓の出超となりこれを前旬に比すれば輸出は棉、織物、マッチ等幾分增加し生絲、石炭、銅、羽二重等減退したるため二割方を減少し輸入は主として棉花の輸入により二割增加を呈せたり(東京特電)

◎京城飛行 尾崎氏と三重號

帝國飛行協會飛行練習生尾崎行輝氏は教官澤田、坂本兩中尉指導の下に技術益々熟達し近日中天候を計り三日間に亙り卒業飛行を決行することとなれり右終つて同氏は朝鮮大共進會に赴くべく自乘の三重號は十二日京城に發送さるべく尾崎氏は職工三名を伴ひ廿一日頃渡鮮の豫定也(東京特電)

◎水講移管中止

前回の通常議會に於て物論を醸したる水産講習所移管問題は議會解散の爲め其儘となり居たるが其後更迭したる農商務文部の兩新大臣は該問題に關し篤と審議を盡したる結果再び閣議の問題となり結局移管は一旦中止し後日更に審議を遂ぐる事に閣議決定せり(東京特電)

◎兩選手元山著

十一日朝京城を出發したる別府、神崎の兩選手は同日午後五時元山著官民の歡迎會に臨みたり(元山特電)

◎李堈公金剛山行

李堈公殿下一行は十一日午後五時來著村地府尹其他重なる官民の出迎へを受け大東館に休憩の後同夜解纜の資海丸にて長箭に向ふ(元山特電)

◎市原總裁

市原鮮銀總裁十一日午後八時三十分大阪驛發の列車にて歸鮮の途に就く(大阪特電)

大共進會

▲開場祝賀會 歡呼の聲山を搖がす

總督政治五年の成績は一幅の縮圖となりて茲に始政五年記念の共進會は開會せられたり、共第一日の午後三時、この景福宮は神武門外の大芝生を掃き清め京城協贊會の大祝賀會は開會せられたり、折しも秋は郊墟に入りて涼風徐ろに面を撫で、空曇れども雨を催さず實に絶好の共進會日和なり。祝賀會は午後二時半第一の爆竹を以て來賓一同會場に入場し數箇所に設けられたる休憩所に屯する程に午後三時五分前に至るや寺内總督及び山縣事務總長は自動車馬車等に隨員同乘の上到著す軈三時十五分第二の爆竹の合圖と共に、吉原協贊會長及び井上理事長の案内にて大天幕内の宴會場に臨場す總督以下の各文武百官紳縉の入場する者無慮一千三百名さしも廣き宴會場も人を以て埋る

□吉原會長の挨拶□

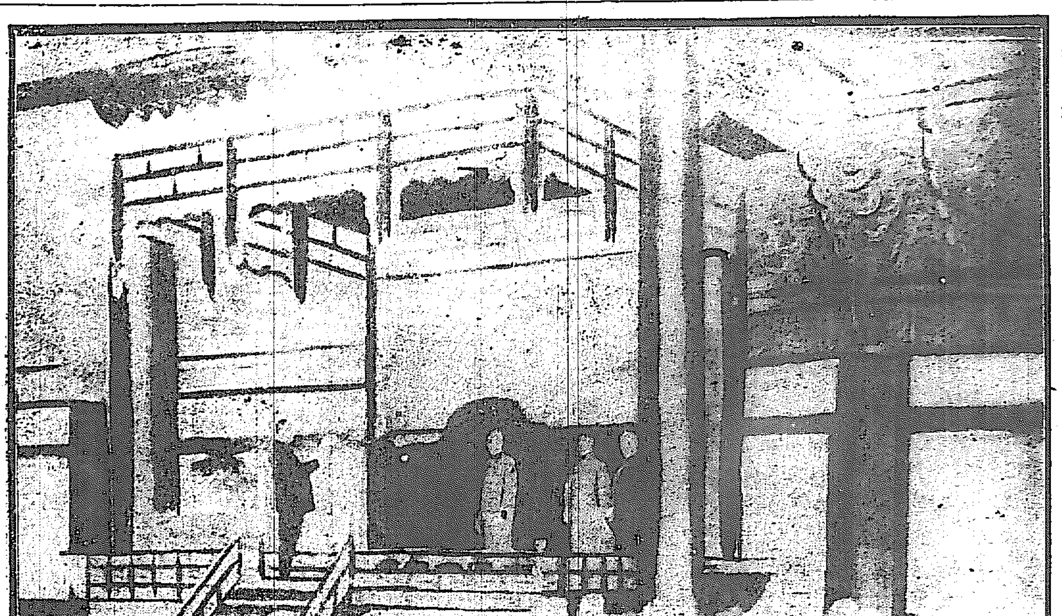
に先ち吉原協贊會長は挨拶を述べ本日始政五年記念朝鮮物産共進會の開場式に當り寺内總督閣下臨席して開場を宣せられ茲に約六箇月間に亙りて準備を整へたる共進會は芽出度開會せられたり寺内總督閣下親しく各館を巡視せられ不肖も亦之れに隨從して館内の出品物を一覽するに併合約五年間に於ける殖産興業の發達實に著しきものあるに一驚を喫したり凡そ産業の隆興は民心の安固健全を得たる後始めて其發達を見る可きものにして共進會場に蒐集せられたる各種の出品物を見るに併合後如何に朝鮮人の氣風が勤勉にして温順なる良民となりたるかを察知するに難からず近き實例を以て之れを云ふも數年前迄は近郊に單獨の旅行をなすは勿論夜間は市中と雖も老若婦女子の外出は不安とせられたるに今日は如何なる僻陬の地と雖も單獨旅行を爲し得るのみならず何等旅行者をして不便を感せしめざる程に進步したり

□協贊會と其趣意□

之れ全く總督政治の賜にして寺内總督閣下苦心の結果と云はざる可らず吾京城協贊會は如斯意義深甚なる記念共進會を翼贊するの目的を以て爰に本會を組織し微力ながら誠心誠意協贊の實を擧けんことに努力したれども今日尙ほ其不備を免れざるは不肖の遺憾とする所なり開場式に當り本日茲に祝賀會を開會したるに總督閣下幷に各位の來臨を辱ふしたるは吾京城協贊會は素より不肖の以て大に光榮とする處なり茲に充分の歡を盡されんことを

□萬歲聲裡の祝宴□

續て起る『君が代』の奏樂と共に一同脱帽起立、場内亦肅然として此大盛典を祝ふ『君が代』の奏樂終るや寺内總督の發聲にて天皇陛下の萬歲を三唱す歡呼の聲木魂に響きて勇ましく白岳の山精驚きて影を沒しぬ、次に吉原協贊會長の發聲にて寺内總督の萬歲、山縣事務總長の發聲にて共進會の萬歲を各三唱し引續き宴に移り各自充分の歡を盡して更らに場外に設けられたる十三箇所の模擬店を漁り四時半散會其より隨意協贊會場の演藝館始め各種の餘興を觀覽し退散したり



寺内總督に對し開場宣言を請ふの辭を朗讀する山縣事務總長

▲全國記者大會日程

共進會開催を期とし朝鮮新聞協會主催の全國記者大會は愈々來る二十三日京城に於て開會の筈は既記の如くなるが出席者は日本全國に亘り二百餘名に達せり大會日程左の如し

▲九月二十日(第一日) 一、午後七時(晩餐後)關釜連絡船(新羅丸高麗丸?)喫煙室に集合一、午後八時二十四分下關驛著東京方面及び九州方面よりの最後の列車を待合せ始めて團體組織を編成すべし關釜連絡船に向ふ(附記)接待は前日より下關に出迎ひ朝鮮新聞協會代表者一名京城より朝鮮新聞協會代表者一名又釜山より釜山新聞記者協贊會代表者一名都合四名出迎團體編成其他萬事斡旋の任務を盡す可し

▲九月二十一日(第二日) 一、午前九時釜山入港之より先き釜山の官民有志は數隻の小蒸汽船に搭乘して港口迄出迎へ歡迎の意を表す可し一、上陸後釜山商業會議所樓上にて休憩茶菓の饗を受けたる後釜山協贊會員、兩新聞社員の案内にて一同腕車を聯ね釜山市中を視察す一、午前十一時三十分釜山驛發後零時卅分東萊溫泉場著蓬萊館庭園にて園遊會一、入浴休憩後四時東萊發五時釜山歸著各指定の旅館に分宿一、午後七時より釜山協贊會招待の芳千閣晩餐會に出席

▲九月二十二日(第三日) 一、午前十時三十分釜山官民有志の歡迎を受け二輛の借切車にて出發一、京釜沿線の視察を爲しつゝ午後一時二十分大邱通過に際し同地協贊會より又た五時太田通過の時は同地協贊會より何れも茶菓飮料等の饗應あり一、午後九時京城協贊會員及び各新聞、雜誌社員を始め多數官民有志の歡迎を受け南大門驛著腕車にて直ちに指定旅館に分宿(附記)旅館は京城第一流の巴城館、天眞樓、京城ホテル、浦尾、山本の五箇所を指定しあり

▲九月二十三日(第四日) 一、午前九時三十分朝鮮ホテル集合同十時より會議室に於て大會開催一、正午朝鮮ホテルに於て寺内總督招待の午餐會に列し終りて午後二時より朝鮮物産共進會參觀の後ち任意解散一、同六時三十分より大島局長官邸の後庭に於て朝鮮鐵道局招待の夜會

▲九月二十四日(第五日) 一、午前十時黄金町東洋拓殖株式會社集合同十一時出發電車にて龍山著正午東拓招待の午餐會一、午後一時より總督府殖產模範場、東拓農場、秋民果樹園、諸情館及び朝鮮兩新聞社、家庭博覽會視察一、同四時龍山より乘船朝鮮新聞協會の招待にて漢江を下りつゝ觀月舟遊會一、同八時龍山發電車にて同三十分朝鮮銀行前解散

▲九月二十五日(第六日) 一、午前十時共進會場集合觀覽一、午後二時より昌德宮秘苑參觀の後苑内宙合樓に於て李王家より茶菓の饗應一、午後六時三十分より京城協贊會招待の晩餐會(場所未定)

▲女事務員募集

共進會に於ては女事務員及び守衛若干名を募集する由に付き希望者は至急同會事務所に申込まるべしと

◎各地風水害(現狀)

▲兩三日來の豪雨の爲め漢江は增漲し津に於て十日正午十五尺の增水あり往十里纛島間は道路浸水したる爲渡船にて交通しつゝあり▲慶尚南道に於ては七日來の降雨九日に至り暴風雨に變じ洛東江二十尺南江十七尺に增水し農作物の被害ある見込なるも人畜には被害なし三千浦晉州間は道路破損の爲め自動車は不通となれり▲咸鏡南道管内は本月八日夜來暴風雨の爲め河口增水したるも大なる被害なし沿海は波浪高く新浦港に於て家屋の浸水百餘戸半潰二十戸軍用棧橋一部破壞す又九日夜西湖津港に於て藤回漕店の棧橋全部公共棧橋半ばは流失繫留中の漁船六隻破壞其他家屋倉庫等破損し貨物の損害あり人夫二名重傷を負へり

◎二百廿日無事?

仁川觀測所の觀測によれば十一日にはオホーツク海方面及び支那楊子江流域に高氣壓存在し低氣壓が小笠原島海上及び西伯利亞方面にあるも低氣壓漸次北方に去りつゝあり一方小笠原方面の低氣壓は漸次北西に進行しつゝあるも速度極めて緩漫なるを以て十二日の二百二十日には内地朝鮮共其影響を蒙らざるべく之を要するに二百二十日は内地朝鮮共概して風力弱く晴又は曇なるべしと

◎東小門道路改修

京城市内植物苑より東小門迄の道路延長五百間改修の爲め本月上旬用地收容を了したるを以て十日總督府土木局に於て請負入札を行ひたる結果千四百十八圓を以て鹿島組に落札したるが來る十月二十五日を以て竣工の豫定なりと

◎醫師試驗期

本年秋季に施行す可き朝鮮醫師試驗は遲くも來る十一月下旬迄には行ふ筈なりしも都合に依り多分十二月上旬に延引す可く而して試驗期は今月中には發表せらるべしと

祝電

臺灣總督府民政長官 鐵道部長 内田嘉吉

貴社今回の壯擧は各殖民地の現況を比較研究し得ると同時に一般に對して鐵道交通上の智識を與ふるのみならず諸般の設備に關する常識を涵養せしむるに至るべきを信じ遙かに兩選手の成功を祈る

關東都督府民政長官 白仁武

大和民族の海外發展の徑路は貴社今回の大計畫に據りて最も興味ある比較研究行はるべく正に時勢に適せる壯擧として兩選手出發の日を祝す

鐵道院副總裁 古川阪次郎

貴社今回の計畫が我が勢力圏内に於ける海陸交通路の利便なるを實證するに好適したるを喜び兩選手の健康を祈る

滿鐵總裁 中村雄次郎

各殖民地鐵道政策の現狀を對比して將來の大發展に資すべく充分の好果あらん事を兩選手に囑す

滿鐵副總裁 國澤新兵衛

朝鮮、滿洲、臺灣の三鐵道が日本に於ける鐵道政策の急先鋒として如何に各地の開發に努めつゝあるかは貴社今回の快擧に據り遺憾なく紹介せらるべし恙なく兩選手が其責を果して滿足なる結果に接せん事を希望に堪へず

大阪商船株式會社 社長 堀啓二郎

海を生命とする東帝國の近海が陸上鐵道との聯絡に於て如何に完全に且つ其航路の如何に安全なるかを實際的經驗によりて證明せらるべき貴社の計畫の成功を祈り兩選手の健康を祝す

日本郵船株式會社社長 近藤廉平

我が環海帝國の近海航路が如何に至便なりやを事實の上に於て證明せらるゝに充分の値ある貴社の計畫に双手を擧げて贊し兩選手の門出を祝す

鐵道院總裁 添田壽一

鐵道政策が大和民族海外膨脹の最重要利器たるや論なく其急先鋒たる朝鮮滿洲臺灣の各地に於ける鐵路並に航路の現況を調査研究すべく其全線を踏破一周する貴社今回の計畫を贊し選手の健康を祈る

家庭博覽會開會に際し左記贊助員各位より叮重なる祝電ありたり

平安北道長官 川上常郎
平安南道長官 松永武吉
黄海道長官 趙羲聞
咸鏡北道長官 桑原八司
咸鏡南道長官 申應熙
江原道長官 李圭完
忠淸南道長官 小原新三
忠淸北道長官 鈴木隆
全羅北道長官 李斗璜
全羅南道長官 工藤英一
慶尙南道長官 佐々木藤太郎
慶尙北道長官 李軫鎬

家庭博覽會の開會を祝し其の成功を祈る(各通)

人事消息

▲大原庄太郎氏(朝鮮水產組合長) 十一日入京東京旅館へ
▲神田保三氏(兵庫縣朝鮮視察團先發員) 十一日入京巴城館へ
▲米澤吉次郎氏(同上) 同上
▲ダブリユ、エフ、ウエンョン氏(英貿易家) 十一日午後出發
▲シー、エッチ、ルザーホード氏 同上
▲ゼー、ワイ、マッケー氏 同上

不夜城

[illegible]頃から更に新らしい歡樂の[illegible]閉場した演藝は七時頃から活動寫眞[illegible]らと搖れるのが素敵に風致があり、正門横の圍い地の噴水一號館前噴水[illegible]斯くて此の華かな歡樂の光りを浴び[illegible]仁川に赴く筈なりし同一行は十四日[illegible]

臨時急行列車(大田南大門間)

共進會觀覽者の便を圖り九月拾四日より當分の内湖南線直通列車と接續を保ち大田南大門間往復の臨時急行列車を運轉致候

南大門行 大田發午後[illegible] 南大門著午後[illegible]

大田行 南大門發午前[illegible] 大田著午前[illegible]

中間各驛に於ける詳細の時刻は停車場に掲示致置候

朝鮮總督府鐵道局

大擴張 京城南大門驛前 武藏旅館

共進會觀覽者には特に御便宜叮寧に取扱申候 電話二三六四番

辭書界の權威 學生唯一の師友 實務家無二の顧問

東京帝大文科大學長文學博士上田萬年先生著(見本進呈) ロマ字びき 國語辭典 十六版 廿二字のローマ字を以て四萬の語を自由快速に引出し得る最新式辭典、歡迎絶頂 袖珍千百頁 三五千語 特價九十錢(正價金壹圓) 郵稅金八錢

文學博士上田萬年文學博士上田敏兩先生合著(見本進呈) 正譯 英和新辭典 廿二版 英學生の最も信頼すべき辭典として兩上田博士苦心の編著。信用益加はり大好評 袖珍千三百六十頁 闊入特價九十錢(正價金壹圓) 郵稅金八錢

小田切文學士 ウオルブ、ファールト先生合著(見本進呈) 新譯 註解和獨辭典 十二版 語詞蒐集の綿密斬新、對譯の正確巧妙注解の明確親切無匹無類の好辭典なり 三六判美本千七百頁 定價金貳圓 郵稅十二錢

博士諸大家百餘氏分擔執筆(見本進呈) 國民百科辭典 學生版 項目四萬日常必須の百科の活知識を包容す。効用博大携帶至便學生實務家の錦囊 四六判千七百七十頁同千五百 特價金壹圓(正價貳圓半) 郵稅十六錢

發兌 東京神田 富山房 (振替一〇五) 書目・郵券二錢にて呈上 賣捌所 全國書肆各店

イケダ小兒病内科醫院 池田季雄 京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目 電話(醫院)一三三四番(自宅)八八〇番

東京竹内製金庫の堅牢確實なるは既に世に定評あり

◎金庫を使用せざる人は財寶を貴ばざる人なり

◎財寶即ち生命なり金庫は遺憾なく之れを保護す

特約販賣店 和洋金物商 藤本藤次郎本店 京城本町二丁目 電話四五番 振替貯金京城二七四番 ○御申越次第目錄進呈す○

金牌受領 上酒壹升に付四拾錢 卸賣は特に割引可致候 淸酒美淋燒酎 釀造元 京城櫻井町一丁目 中井酒造場 電話百七十七番

九月十三日九星 舊八月五日

共進會開會第一日の深い歡樂のまだ盡きやらぬ十一日の暮方淡い夕靄が南山の麓まで匿して終つた六時半び寄せられる樣に協贊會の夜間會場へと向ふ人が多い、時間の無い爲六時頃中券藝妓の踊つひのよゐべ丈で呼んだが各賣店も晝と同じく客足を憩いた、慶會樓のイルミネーションが水に映つて水鳥の泳ぐ度にゆらゆの光は眞晝の華かさを現出した、

闇を隈なく照らす探照燈

▲送別演藝會 兩券番並びに料理組合…師匠連送別演藝會は十日午後…

▲師匠連出發延期 共進會…踊り出演藝妓後見のため十一日出發…

祝賀會場

高唱す萬々歳!

神武門外二千の會衆杯を擧げて

共進會の開場を祝す

十一日午後二時から、協贊會主催の共進會祝賀會園遊會は景福宮の奧深き邊り、神武門の外、翠の古松繁れる白岳山麓の大芝生に開かれた此日吉原協贊會長の名にて招待されたる人々は寺内總督、山縣政務總監を首め内外文武官民凡ての方面の名士を網羅してその數

▲無慮千五百名 定刻前迎秋門より場内に入るゝや所々に祝賀會場への道しるべが高く立札にして立つてゐる、賣店の間を餘興場に拔ると金光帽影燦として來賓の人々が續く神武門上では李王職樂隊の奏する國喨たる奏樂が來會者を迎へる、門を出ると芝生の中央から八方に引かれた萬國旗が秋風に搖れて、模擬店が之を取圍んで設けられてある、松林の此方隆文堂下には大天幕が張られ食堂の用意が出來てゐる、定刻に爲ると山縣政務總監先づ來り、つゞいて共進會の巡覽を終へて午前十一時半頃一度歸邸した

▲寺内總督には吉原協贊會長の案内で白井、森兩武官、大藤副官を隨へ來會される、その後から英米、露、白、支の各領事及び領事館員、ハリス、ハッガード、グレーの各宣教師も來場する、寺内總督は先づ隆文堂上の休憩所に上り外交團、宣教師等に一々握手を與へ、流るゝ如き佛語でもつて佛國西敎會の宣敎師グレー氏や佛國領事グラン氏を相手に暫時談笑する、軈て爆竹の響と共に一同奏樂に送られて食堂に入る大天幕の下に打ち並べた食卓は白布を以つて覆ひ、秋草の花美しきを置いて、天井には萬國旗と五色のモールが縱横に引き廻はされて居る、一同の席定つた頃吉原協贊會長の祝辭があつて拍手の裡に

▲一同杯を擧げる 時に『君が代』の奏樂あり一齊に脫帽直立する『君が代』の奏樂が終ると寺内總督は立つて 天皇陛下の萬歲を唱せんとを宣し自ら音頭をとり一同帽子を高く振つて之れに唱和する、その聲白岳に反響して山も動かんばかりと共れが終るや否や吉原協贊會長の音頭で寺内總督萬歲の三唱あり、次に山縣政務總監の音頭で共進會の爲に萬歲を三唱する、終つて各自立食の美酒美肴に歡を盡し思ひ〳〵に模擬店に向へば藝妓、妓生のその間に斡旋するあり、盡きせぬ歡樂に醉うて全く散會したのは午後五時頃。

切符は切らずに通せ〳〵

共進會開場劈頭の大繁昌

十一日午前十一時、開會を待ち兼ねて雪崩を打つて押寄せた群衆は正午頃に至り雲霞の如く光化門前に群集し改札口に押すな〳〵の大騷ぎにて巡査、騎馬巡査、守衛等數十人の制止するも肯かず

■我先きに とひしめき合ひ、中には袖を引裂かれた婦人もあり洋傘を曲らせた男もあり殆んど決死隊の姿で乘込めば右等の警官も殆んど手段に困じ果て〻松井鍾路署長まで大聲あげて呼はるらく『モウ慥うなつては致方が無い、切符は切らずに通せ〳〵!!』と、これで大分融通が著いたが何分にもあの廣い光化門大通がずつと大平町通まで白衣黒冠の人や内地人、西洋人、支那人の群衆で滿されたのだから賑に夥しい人出であつた、續いて又團隊の乘込には京城附近の高陽郡、始興郡等より各面(村)々の觀光團ありこれ等は皆先頭に旗物差し樹て〻押寄せたれば

さしもに廣き會場景福宮裡の廣庭も乃至は又數多き陳列館も殆んど押すな〳〵の繁昌にて一時は殆んど凄まじき程の雜沓であつた、入場者は先づ正面の

■噴水を觀 る、第一號館の表門に點く、更に極彩色の鐵道館と高塔を仰いで何方に行かうと逡巡するものあれば『なあに片つ端から觀て歩くさ』と勝手にスタ〳〵歩き廻る者もある。中にも鐵道館では度毎に絹帽や丸髷が子供のやうにニコ〳〵する、第一號館は如何と見れば隅から隅まで人山を築ぎ『此奴あ面白い〳〵!』の連發やら『アイゴゥ〳〵!』の人許り、續いて又丹碧の色美しき勤政殿を覗けば此所も亦庭一面の人群れで、赤帽の案内者は曰く『何分朝鮮人等はむかしの宮殿を拜むのですから吃驚するのも無理からぬ事です』と、成程髯のヨンガミさんが

■感心して 行く、又廻廊の水產課には巨大なる鯨骨の陳列に度膽

奧樣も孃ちゃんも大悅び

家庭博覽會開會當日の盛況

十一日の正午觀客期待の幕が切つて落されてから觀衆は潮のやうに押寄せたが綺麗に拵えた令嬢や美髷の紳士老人學生など澤山な觀客で皆々て歩く殊に高音で幾樣も音譜の出る

■驚異の眼 を見張つて觀覽しオーグストラの自動的音樂の微妙な旋律に恍惚と聽き入て樂器の周圍は人垣を築いてゐる觀客の中には頗る熱心家があつて不審の點は一々係員から說明を聞いて態々手帳に控へて行く人もあつた全南茂朱の學校の敎師の如きは非常に趣味を以て觀步いてゐた頑是ない坊ちゃんや孃さんは死ら生きてゐるやうに美しい人形を見て非常に悅んでゐる『齒の衛生』の室に這入ると恰かも

■生きた人 が口を開けて齒並みを見せてゐるやうなのを『氣味が惡い!』とか『齒の攝養は大切』だとか話合つて熱心に觀るものが多い會場前には澤山の内鮮人が蟻のやうに集つて餘興に飛す紅色の風船球を拾ふと押すな〳〵の賑であつた朝鮮學生の如きは諺文で陳列品の說明を揭敲してあるものを態々筆記してゐたには何時も澤山な鮮人觀客が離れなかつた尙十一日には入江理財課長工藤調理課長澁谷忠清南道第一部長猪原朝鮮ホテル支配人其他多數の知名の人々が見えた

いの一番に家庭博覽會に入場した中村時章氏の感想

本社主催の家庭博いの一番の入場者は辯護士中村時章氏であつた、氏は開會に先立ち約一時間前から

▽門前に 待ち構えて居たか鮑て正午開會を宣するや否や高齢の母堂を始め夫人家族一同と共に佐々木高綱ならぬ入場の先頭を試みた、其の感想に曰く、家庭博の陳列品は漫然唯だ外部の裝飾や興味に騙られず能くその說明書を熟讀する必要があります、單に男の私が觀てさへ有益なものであつたから世間の婦人達には是非お薦めしたいと思ひますが猶ほ一般の鮮人にとつては非常な

▽參考に ならうと思ひます、例へば家庭に於ける主人の部屋客間臺所等を解放して陳列した如きは從來内房を閉塞しつゝあつた朝鮮人の家庭には何の位裨益するか判りません、又内地人にとつては從來家を設くるに當り主人の居室には注意する

■祝電 朝鮮銀行總裁 家庭博覽會副總裁 市原盛宏

家庭博覽會大盛況裡に開會せらるゝの報に接す欣喜に堪へず遙に其成功を祝し有終の美を濟さん事を祈る(東京發)

■祝電 京城日報社社長 民新聞社長 德富猪一郎

家庭博覽會準備全く成り本日開會の報に接す慶賀に堪へず遙に其成功を祈る(東京發)

吸入瓦斯發動機などがガタ〳〵動いてゐて見物には大受けの態、お隣の營林廠特別館では白頭山下千古の密林に虎や獐を描き出したる大油繪に夫婦連れの西洋人が感心して往つたる美術館は先づ美しい建物に驚き參考館では

■飛行機の 模型に人山を築き二號館では可愛らしい電車が大人氣であつた。其他各館共に非常な人氣を聚めて居たが總て動く陳列品が人眼を惹いてゐるのも面白い、猶ほ廣庭の花壇や楊柳の綠蔭にはベンチに憩ひながら音樂堂の奏樂に聽き惚れるもあり、記念繪端書を買つて會場内の郵便局に投函するもあり餘興場に繰込む者も多く、中にも一時數十名の妓生行列や朝鮮芝居行列、參者の山車などが乘込むだ時はヤンヤの大喝采で猶ほ後の方白岳の松林には煙花が揚る風船が飛ぶ爆竹が轟く斯くて夕方に至るまで門の内外共湧くが如き歡聲に滿されたのであつた

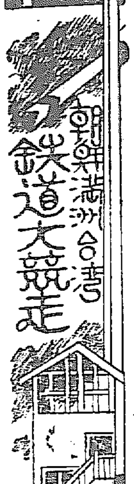
大滿足

招待會の餘興

協贊會の餘興第一の呼物妓藝舘は午後一時半に開會せられた、殿樣から開園ご覽から高島屋が念入りに拵たもの丈あつて昼夜と云ふ點に於ては場内第一だと云つて早やからこゝに詰掛けて居た連中は數百人、豫定の午後一時半になると心地の好い柏子木がチョンと鳴る▲開會第一日の冒頭に提供された舞踊は[illegible]の舞踊で李朝世宗時の作…京城券中券めて悠長な踊であり引き續いて京城券中券の藝妓のつびのよゐべ、御代の榮を踊る…會接藏手の餘興物の[illegible]大曲馬に早や既に[illegible]の一般入場者を入れて曲馬や曲藝の[illegible]の來賓の多くが驚かされたのは朝鮮演藝館であつた滿場立錐の餘地もない盛況▲協贊會食堂の饗宴が終むと一千餘名の當日の來賓は崩雪を打つた樣に模擬店の方に流れて行く▲何かさて二箇所のビーヤホールさすし、おでん、燒蛤朝鮮料理、支那料理、しるこ、さつま汁、紅茶田舍茶、うどんそば、賣茶等十五箇所もあるのだから一巡するも大抵の事でない▲京城市中を踊り歩いて來た兩券番の大原女に扮した二百の藝妓が會場に乘り込んで來たのは丁度模擬店の開かれる前で、食堂が終はつた時には此大原女が十五箇所の模擬店に分配されて、何れも赤い聲を出して客を曳いて居た▲大に斡旋したので賦に振り…行き屆て來賓は何れも大滿足

花の共進會を後に

別府(南北)選手發電



幾十萬の讀者が僕の前途の行程を一樣に注視してゐられると思へば遙かな海波山波の五千哩も唯一飛に飛んで歸りたい、然も整備した各地の交通機關は僕の此正直な望みを容れやう筈はない、如かず最も機微に秩序を踏で一刻も其の歸京期を早からしむべく努めやう、花の共進會の開かる〻十一日の午前八時半南大門驛頭官民多數の賑やかな見送りを受け、遼遠な鮮滿臺鐵道大競爭の門出に上る、僕は旅行の計畫上先づ京元線往復を先にすべく龍山で元山行きの列車を待ち合はす事にしたら、北行の神崎選手も亦元山先行ちやと其の長い身體を車外に搬び出すヤレ〳〵これは

吳越同舟 でなく同車だ哩と互いに呵々大笑龍山驛の貴賓室で鐵道局の諸氏とシャンペン代りに麥酒のコップを擧げて分袂列車は布袋然たる横木技師や惠比須顏の加藤參事等を後にして定刻漢江岸を北に走る豪雨後の河水は汪洋として兩岸を浸し透明な大氣の中に泛々たる輕舟が綿の如く見ゆる所々に楊柳の並木がこんもり茂つてゐる時折朝日は雲を破つてちら〳〵と洩れを照す清涼里の静かな松翠と柳の並木を窓外に眺むる頃神崎選手と

金剛山探勝の途にあらせらる〻李堈公殿下を訪問し『愉快な御旅行だね』と言ふ御言葉を戴いた東豆川驛で南大門行きの列車と行合ふ流石に二三等室とも共進會行らしい日鮮男女で充滿してゐる二三の驛長に聞くと異口同音京城行の激增を語る(東豆川より)

李堈公殿下

神崎(北行)選手發電

編輯局長足下、足下の北行特派員は編輯局同人外官民多數の歡呼に送られて正に意氣神天南大門驛頭を辭し候、豫而の作戰の通り、龍山驛に下車元山行列車を待ち候處意外にも足下の南行特派員、小生の敵手亦小生と作戰を一にして同じく龍山に下車、京元線行列車を待つ事と相成り候、昔者吳越同舟の語あり、今何の辭を以てか此行を敍すべき、復是れ這回競

走劈頭の奧かと存せられ候さはれ雲時こそ敵と呼び味方と言ふも元是れ同人のみ。車中自ら把臂談笑、增水せる漢江々畔いつもの眺めを右手にして往十里、清凉里、倉洞、議政府の諸驛を過ぎ、寧ろ殺風景なる京元西牛の旅を終り今、漏溪に著し兩選手膝を交へて午餐の箸を擧げし處

是れより京元線の景勝に入るべく 兩選手共に意氣軒昂、幸に御安意あり度く候。年最後吾等の健康と必勝を念じて早朝南大門驛に歡迎の眞情を惜しまざりし閣下並に諸氏へ對し以紙上感謝を敍べんと欲す(漏溪より)

空を蔽ふた雨雲も兩選手の天を衝く意氣に破られて來る龍山驛に横井、加藤其他顧問諸氏の歡迎を受けて京元線に乘れば、偶李堈公殿下と同車の榮を負ふこと〻なり直ちに則を通じて敬意を表す殿下は一週間の豫定で金剛山觀光に行かる〻由御機嫌殊に良く吾曲の競走を非常に愉快なこと〻思ふ健康を祝すなど語らる竹下君兄妹に依つて贈られた花環の色美しく淡き旅愁をそ〻る(洗浦より)吾上る旅路と君が花束に罩めたる思ひ何れぞ長き

▽一疊半 の臺所には感心しました、あれなども田舍の人には左程にもないが都會の狹い家屋に生活する人々にとつては洵によい參考になります、あんな便利な臺所なれば第一下女の手數も省略けるし裕に妻君獨りで炊事が能きます、其他總ての出品物には一々われ〳〵日常の生活上に參考となる點が尠くないのは御社の理想さするところも見えて大に滿足しました

けれ共大切な臺所などは等閑に附せられてゐる、これなども大に考へて

■祝電 家庭博覽會顧問 侯爵 朴泳孝

家庭博覽會愈々本日を以て開會せらる慶祝何物か之に如かん成功を祈る(大邱發)

東洋拓殖會社副總裁 家庭博覽會顧問 野田卯太郎

家庭博覽會の開會を祝し且つ其の成功を祈る(東京發)

先づ妻君の意見も斟酌する必要があります、次に整頓せる

◎廣告 朝鮮總督府

一砂五百五坪 右購買ス詳細ハ九月十一日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

◎廣告

八月二十五日競賣に付したる本社財產は豫定價格に達せざるに付更に來る二十日午後一時より競爭入札を行ひ致候間入札手續及財產目錄等熟覽の上入札せられたし

朝鮮龍山元町二丁目八十番地 宇惠喜醬油株式會社 清算人

京日案内

●番外 共進會歸りに御土產品 オモチャ 京城明治町二丁目 吉岡玩具店 電話一八四番 500

●女子募集 希望者本人來談あれ 共進會賣店員十四五歲前後の女子數名採用 京城若草町 西村商會 電話三六三番 514

●筆耕二名入用 至急 希望者は履歷書携帶本人直接來談 京城旭町一丁目 東西藥房 電話二參九五番 515

◎古着古道具類一般 右は相當價格を以て確實に買受候 旭町一ノ廿 クヅ谷商店 電話一八一二 503

◎入齒 京城明治町一丁目五七 吉崎文作 祝始政五年一般觀覽人に對し大割引 513

◎健胃整腸散 下り腹一切の良劑 京城明治町一丁目 小川温知堂 521

マラリヤ特効藥 金鷄丸 各藥店にあり 定價三十錢 發行所 京城旭町一ノ二三 淺野藥天堂 440

共進會出入門鑑寫眞 無料 御指定撮影迅速調製金卅錢 京城寫眞館 南大門本館 永樂町分館 489

恩給年金類立替 京城永樂町壹丁目四十四番地 商品陳列館前 江州屋 電話八〇三番 429

◎迅速調製 共進會門鑑寫眞 イカリ寫眞館 黃金町三丁目 電話二二三六 定價卅錢 505

諸鳥羽製品 剝製標本類 弓矢 一附 京城本町三丁目四二 早瀨商店 494

◎普通 一回前金三十錢 匿名一回每に金五錢増

◎電話讓渡 京城電話九〇五番 不用に付讓る希望者は京城日報案内係迄來談あれ 詳細面談す 案内係 506

◎花造製販賣 京城本町一丁目 電話一〇五五番 橘商店 510

◎有給外交員採用 携帶本人來談最も高尚の永續事業 花園町二武一 帝國圖書普及會朝鮮支部 511

◎電話讓渡 最も呼よき二番 轉任の爲め至急格安に讓る 希望者は案内係りまで 512

◎店員入用 商業に經驗ある廿歲前後の人を求む 希望者本人來談 京城本町三丁目廿五番 正札屋衣服店 513

●貸す ピアノオルガン 貸物あり望みの方は乞御來談 若草町一〇六 電二二六三 西村商會 517

●男子外交員 及女子集金人 至急入用 希望者本人來談あれ 京城明治町一丁目 村山商行 518

◎看護婦募集 外勤多忙資格ある看護婦 履歷書及免狀携帶本人至急來談 南山町三丁目二九 宮林看護婦會 513

◎敎師採用 希望者は午後五時より七時迄に履歷書携帶來談あれ 大淇門前 國語普及學舘 520

◎貸家 日本建温突付 三室至極閑靜 官吏向 漢陽公園南東 管理者 寶龍山印刷局先 畑中 507

◎美顏劑 一箇一圓五十錢 ふんわ入洗粉か賣出し 拔落町一ノ一五八一 明治町一丁目 牧野 490

◎ニコノ〳〵賣 に適當 一ヶ月位 一度御試用あれ 黃金町三 山田文具部 460

早稻田中學講義

秋期新學年 一大禮紀念メダル贈與 ― 入學最好機

第一の講義 小學卒業者は大學か來れ

學費は最低 質疑應答懇切

修了は最短期 大學の家は平易也

講義 擔當講師 總長 大隈伯爵

名譽學長 高田博士 多年の指導により效果絕大 毎號に寫眞 挿繪頗る多數

話の青年訓話 名家其他講話 別講話有金は特にも最

十大特典 申込次第 提供 規則書見本附 直に呈送

立身成功 を計せる事實の最捷徑は之を學べ

入學金不要

東京牛込 早稻田大學出版部 申込所

瓢の旗風（549）

番衆浪人　筒井年峰畫

詭策（十六）

前田玄以は、落着いた態度で。
『筑前殿の口上、それは存せぬ……』
『拙者は唯上意をこそ……』
『云ふナツ。まだ三歳や四歳の三法師、上意なんどゝ痴けたる。筑前口上、彼奴が人も無げなる僭上沙汰に極まつたり。法師！まだも匿し居るとかッ。』
『こは以ての外の事……』と聲丈を高うして玄以。
『拙者は唯、上意を傳へにとて參向致したもの、幼君の口眞似が誰なりとて、それ私事……』
『何と……』
『御前にて、承りたりと申すの外は御坐らぬ。それ、御聞質しの要の御坐あらば、御伺候あつて、御前にて。』
『玄以ーおのれ此信孝を蔑ろに致すかッ。』
『以ての外の事、今日は上使と御坐る拙者、御出伺を申入るゝまで、さらばで御坐りまする。』とつと起つた。
『待てッ。』大喝一聲、突立上るを。
『殿！暫し……』
『待たせられ！』
『恐しい樣には……』と三重職が、身を挺して制する間に、玄以は悠々と引揚げた。
『無念……』バリ〳〵と齒を噛んで信孝。
『エイ、あの猿奴が、此信孝を何とか思ふ、たとひ當主とはあれ、まだ三歳四歳の三法師に、歳暮年始のせぬとて、それを怠りなんどとは、臣下の身として、予を咎め立て、以ての外の儀、此上は勘辨為らぬ。直ちに猿奴を討たうぢやまで……』
『こはまた殿には、御短氣……』と平田壹岐が云ひ出づるを。信孝は、
『默れ！其初め柴田瀧川佐久間等、予を當主にとあるを、筑前强ひて彼の三法師を立てつる。これ、其非望を遂げんがため、其後、修理や左近や玄蕃が、すること爲す事不覺を取り、筑前は三法師を傀儡として、織田の天下を我物顏、それが増長のして、此信孝に過怠の責むる。エイ、彼は父上の草履摑みし身を以て、予を侮り、我意驕慢の振舞、いでや成敗……』
『こは殿には、まづ御心を鎭めさせい……』と國府佐渡守は、押へつける樣な口調で。
『筑前が僭上沙汰は、よしや憎むべしと致すも、唯今、成敗思し立ち賜ふとも、恐れながら御不覺を……』
『おのれ……』
『佐渡申す處、質に道理……』と今度は峰信濃が引取つて。
『たとひ當方に百千の正しき理あり執つて立つ上は、當方に充分の勝味無くては相成り申さぬ。然るに、今は如何御坐る。恐れながら北畠樣はあの體、第一の御味方と頼ませらるゝ越前はまだ雪深くして、兵を送る事難く、頼みとさるゝは唯瀧川のみ。これとても、其の眞意、如何とも測り難し、筑前は土地の利ありて、御當主の三法師君を頂き、加之池田稻葉の諸は、皆筑前の方人。旁以て殿は孤立、殊には、今こそ殿御旗擧とあらば、一も二も殿の御非望、織田家の天下を覆へさんとする叛者と云はれ……』
『聞かぬ！聞かぬ！』と信孝は身を慄はせて。
『疾う〳〵越前へ早馬、勢州の左近へ後詰の儀申し入れい！予は當城の要害に立籠つて、猿奴と勝負のせう止むるなッ。』と息巻き立つた。

四面文藝

『歌』ご感興　京城　さか齢生

日報歌壇は私しが最も親しく讀んで居る一ツである、毎日讀んでる歌の中には多少の努力を要し理解し又スラ〳〵と讀みつゝ作者の表現した事を洩らす事なく味ひ得る歌もある。作者の感動した物象觀と自已の抱ける感動とが交感した時生々した嬉こびが腹のドン底から湧いて來る。而して其の感じた心持ちを『ノート』に記るして折りに觸れて讀んで見るのも面白い。
今朝の四面文藝の晩鐘生の『感じたまゝ』を讀んで自分のノートと對照として見るとそこにまた一種の興味が躍動する
今ま二三の私しの『感じるまゝ』を書いて見ようと思ふ
○大いなる事されかし乞願へども何事もなし何事もなし（砂丘秋）
殖民地の氣分はまた格別だ母國を離して幾年かを送つた未だ理想の一階段にも辿りつかない。若かき血の漲つた靑年が泄々たる綠りゆらぐ高梁を見つめて雲流れ行く故郷を望んでは郷關を出る時の心に蘇つて腕をサスリながら苦い笑いの唇に浮かぶ頭のなかにムラ〳〵と此んな思ひが渦を卷く
○智恵のある人と離れて暫くは居に暮らさんかる處あらん（秋人）
都會に居ては如何しても複雜な刺戟から脱れる事は出來ない。最う見たきもすまいと思つても渦く中にいつか巻き込まれてる度い、暫くでも宜いから刺戟から離れて質な自然に延びて行く自已を見出し度い赤裸々な自分の叫びは如何んなだらう？
○活躍のごときおどけし心もて今日一日を過しみまし（靑い灯）
人間の氣の向くまゝに飛んだり跳ねたりいつまでも小兒の樣な自由な生活をしたら嘸愉快であらう。筆を重ねる從つて世間が窮屈になつて來るフイト自分を顧みて種々な煩えから一寸と脱れて見度い氣になる
○穏やかに凪ぎし心に石投げて悲しみの波動か拡りて行く（戸部月小夜）
空に舞ひ上つた雲雀が美しい春野を下に見て鳴き度い丈け鳴くそんな心持で一生を終つたら面白からう複雜な社會から若い人に投げる刺戟が如何に其の人達の心を苦しめてるか。其廣がり行く浪に沈むか浮くか
○終りに……
○何事も女なりとてあきらめて白き光りの針運びつゝ（美智香）
すなをな運命のなすがまゝに總てをあきらめて——自制して——女らしく弱く優しく服從して行に——と言ふのである
○たゞひさりまたの旅に『山の弟切草の咲き初めてより（芳子）
赤裸々でも屢々見たが此人の歌には『悶』が見える家庭の退窟から脱れて山に川に放浪する。前の美智香とは反對な性格だ大膽な而して力強く表白してある

新吟會第一回詠草

□一筋の路のほとりを果もなく見送り居たれ風強き日、夏　一陽
□天上天下唯我玉村いまぞわれかいつばいに銃振れるなり　玉村
□娘よ、妻よ、美衣を欲りする事勿れパンは得し、生きんとするに。　南鈴
新吟會は毎週一回開催する。第一回は花園町一一九、佐田玉村が草庵にて集合、會するもの七人（桑二投）

■オンドル會詠草

浴衣　よし子
月に立てば浴衣に黍を零る露
寢椅子涼し浴衣に落る木々の風
サイダー抜けば泡ほる浴衣の膝
浴衣濯ぐ背戸川の藻を走る魚　逍
浴衣夜我ちす肅かさ杏落つ
浴衣涼し燦色雲の松抱ける土手
浴衣干せば蛙は赫き日に鳴けり　鳴
月は波に織られつ浴衣孕む凪
柿の茂りに浴衣干す驛裏の宿
筑波根草の咲く朝を浴衣濯ぎ足る　原
二階廣う掃く浴衣見て寢轉ぶ　芳　雷
●九月分例題（宅、砧、蛩）句數無制限、九月十五日限り平壌寺町オンドル會宛の事

大阪株式時電

十一日後場

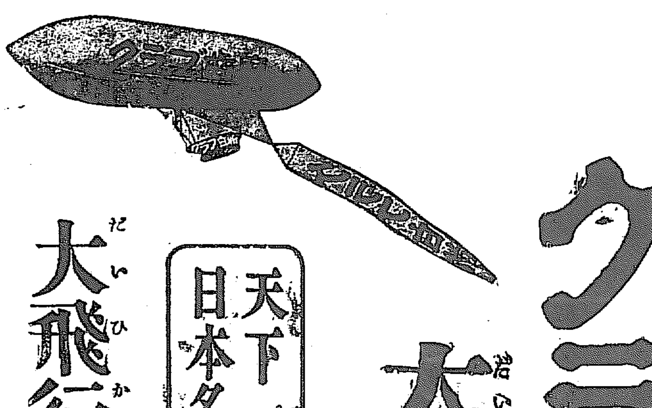
五一、六〇　一二八、二〇　九三、一〇
一〇八、八〇　一〇九、五〇　一二一、三〇
一〇八、九〇　一〇九、九〇　一二一、三〇

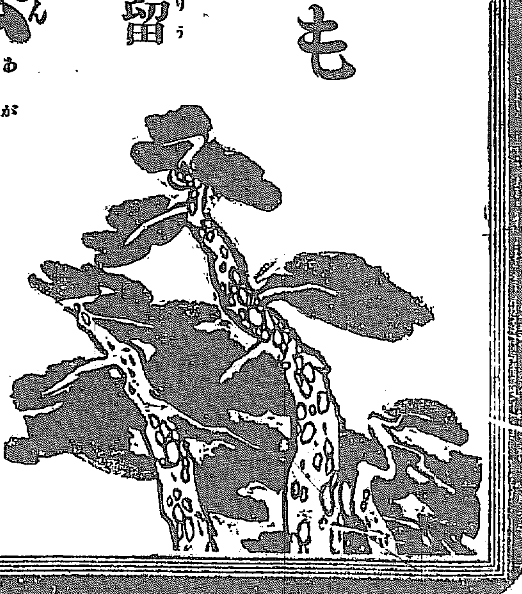
下關期米

▲後場伸び悩み

十一日の十一月限

京城日報社主催家庭博覧會開催を祝して
京城の空高く今日も
クラブ繋留大飛行船揚る！
天下一品日本名物
クラブ白粉本店の
大飛行船揚る！
晝は雄姿堂々
夜は光輝燦然
太平通の空高く！





遊漁船御案内
約道具御小賣　仁川海岸町三丁目角　芹川漁具店　電話七五四番

請　りん病　壹週分壹圓　分二拾錢
合　ばい毒　壹週分壹圓
楽　武文方の注文は引替小包にて遠方の節は無効返送料不要
京城龍山漢江通三丁目小學校前　龍山ドラック商會支店

日韓瓦斯電氣株式會社製品
コールター　特約販賣　巴商行
同　龍山漢江通八番地　樋口米太郎
鍍鎔其他鑄造製作　久保田鐵工所代理　工場　電話四二四番
電氣用品工事設計請負　中村製作所代理　京城明治町二丁目　同支店　電話一四二五番

製造元とのやくそくで
砂糖、麥粉、貴、金巾、燐寸、石油、洋蠟、鍋釜、紙、乾物、鑵詰、ビール、サイダー、葡萄酒、清酒、醤油、染粉、足袋、其他日鮮人向雜貨食料品
割の安い品そろいの
大おしろ店
仁川本町
河野本店
電話二八一番　振替京城二一一番

清酒	鰹節	昆布	農具
鑵詰類	什器類	金物類	紙類
乾物類	箱火鉢	ストーブ類	花筵
雜穀類	膳椀類	シヨベル類	煙草
海産物類	綿類	履物類	木炭
漆器類	茶類	荒物類	石油
家具類	東京澤庵	文具類	石炭

國旗提灯
仁川新町　津田兄弟屋　電話七六二番　振替京城三八九番
青島四方町十四號地　津田兄弟屋出張店

麻病専門　救　治淋藥
本劑は處方を公開せる最新藥にして實驗患者全治禮狀山の如し淋疾患者の本劑を用ひて治癒せざるものなき實に百發百中と雖も過言に非らざる靈藥なり
■慢性淋疾用（膠囊入）金二圓二拾錢　金一圓廿錢
■初期淋疾用（膠囊入）金一圓拾錢　金六十錢

梅毒専門　救　根治丸
本劑は梅毒の痼疾を主治する靈藥にして六〇六號注射法其外各種療法を用ひて無効の人は落膽せずして速に本劑を用ひられよ
■七日分百六十八粒入　定價金六十錢
▲販賣店は各地到處藥店に有り無き時は本舗に直接注文あれ▼
京城南大門通四丁目　電話二五八三番　振替貯金一二六九番
達摩堂　救世藥舘